

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 8 年 6 月		工事概要	施工延長 L=266.0m	
契約番号	2026000584			道路改良	
路線名	市道 金沢下北高平線			・道路土工 N=1.0式	
工事等名	浸水対策事業（防災・減災） 排水路整備（金沢下北高平線）工事			・法面工 A=216.1m ²	
				・U型側溝工 L=217.4m	
工事等場所	南相馬市 原町区下北高平字北山 地内外		・1号排水工 N=1.0ヶ所		
総工事費	当初請負		仕様概要	・集水樹工 N=3.0ヶ所	
	当初設計			・舗装工 A=913.1m ²	
	変更請負			・構造物撤去工 N=1.0式	
	変更設計			・交通誘導警備員 N=80.0人	
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2026000584)		
浸水対策事業(防災・減災)排水路整備(金沢下北高平線)工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
道路改良		
道路土工		
法面工		
排水構造物工		
1号排水工		
舗装工		
構造物撤去工		
仮設工		
安全工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所
業者名
代表者名



最低制限価格の設定(算定)について

浸水対策事業(防災・減災)排水路整備(金沢下北高平線)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には ☒ のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☒ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 水道工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

位置図

南相馬市原町区管内図

工事箇所
(下北高平字北山地内外)



凡 例	

1: 50,000
0 1000 2000 3000 4000m

原 町 市

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	00 市 町 村 実施設計書 当初 11111111111 0 1 実施単価 71 S (相双 1) 地区 00-08.06.01(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 土木工事 11111111111当初浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 諸経費工種 冬期歩掛補正 契約保証補正 施工地域補正 現場環境改善費 週休二日補正 復興係数 (共通仮設費) 復興係数 (現場管理費)	40 04 道路改良 00 冬期割増なし 01 金銭的保证 06 (土木)一般交通影響有り 2 00 必要無し 01 月単位 01 補正あり 1 . 3 01 補正あり 1 . 1		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
道路改良						Y100H002672
		1	式			
道路土工						Y211Y002677
掘削工						Y320B000046
		1	式			
掘削						Y440R001091
		383.7	m 3			
掘削 土砂 オープンカット						SPA101 00
		1.0	m3			施工 第0 -0001号表
路床盛土工						Y3257002687
路床盛土						Y44CA002688
		19.1	m3			
路床盛土 2.5m未満						SPA117 00
		1.0	m3			施工 第0 -0002号表
人力盛土工						Y3256002682
人力盛土						Y44C6002683
		47.8	m3			
路体（築堤）盛土 2.5m未満						SPA113 00
		1.0	m3			施工 第0 -0003号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路肩盛土工					Y3256002682
路肩盛土					Y44C6002683
	5.5	m3			
路体（築堤）盛土 2.5m未満					SPA113 00
	1.0	m3			施工 第0 -0003号表
購入土					Y45W5000019
	7.3	m3			
土材料					SPA129 00
	1.0	m3			施工 第0 -0004号表
法面整形工					Y3258002692
法面整形（切土部）					Y4408002693
	50.3	m2			
法面整形 切土部 現場制約なし					SPA301 00
	1.0	m2			施工 第0 -0005号表
法面整形（盛土部）					Y4409002694
	165.8	m2			
法面整形 盛土部 法面締固めなし					SPA301 00
	1.0	m2			施工 第0 -0006号表
残土処理工					Y3205002695
整地					Y45W5000020
	320.0	m3			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工 第0 -0007号表
土砂等運搬	320.0	m3			Y45W5000021
土砂等運搬 標準 バックホ	1.0	m3			SPA105 00 施工 第0 -0008号表
法面工					Y211R002717
植生工					Y3200002718
植生シート（盛土面）	165.8	m2			Y44AQ002722
法面工（植生マット・シート工）（材料含） 植生シート工 肥料袋無 標準品 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満)	1.0	m2			S7044 00 施工 第0 -0009号表
植生マット（切土面）	50.3	m2			Y44AQ002722
法面工（植生マット・シート工）（材料含） 植生マット工 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満)	1.0	m2			S7044 00 施工 第0 -0010号表
排水構造物工					Y2121002865
作業土工					Y320B002879
床掘り	58.7	m3			Y45W5000143

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 土砂 小規模	1.0	m3			SPA161 00 施工 第0 -0011号表
埋戻し	43.3	m3			Y45W5000144
埋戻し 小規模 土砂	1.0	m3			SPA181 00 施工 第0 -0012号表
側溝工	1	式			Y3326
プレキャストU型側溝 (-A-i-300A)	159.1	m			Y4020
排水構造物工 (U型側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間の制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工 第0 -0013号表
U型側溝 J I S 3 種落蓋型 A i 3 0 0 A a 300 × c 300 × L 2000 4 1 9 kg / 本	0.5	本			T2000 00
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0	0.056	m 3			T8454 00
プレキャストU型側溝 (-A-i-400A)	54.3	m			Y4020
排水構造物工 (U型側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間の制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工 第0 -0013号表
U型側溝 J I S 3 種落蓋型 A i 4 0 0 A a 400 × c 400 × L 2000 5 1 6 kg / 本	0.5	本			T2010 00
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0	0.063	m 3			T8454 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストU型側溝 (-A-c-30) 2号集水桝	4.0	m			Y4020
排水構造物工 (U型側溝) (材別) L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工 第0 -0013号表
U型側溝 普通型 - A - C - 3 0 3 0 × 3 0 1種	1.0	m			T4040 00
再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0	0.05	m 3			T8454 00
側溝蓋 (-C-g-300) コンクリート蓋、 -C-g-300	287.0	枚			Y4020
排水構造物工 (蓋版) (材別) 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0014号表
U型側溝蓋 (J I S 3 種落蓋型) C g 3 0 0 L 5 0 0 4 5 kg / 枚	1.0	枚			T4000 00
側溝蓋 (-C-g-400) コンクリート蓋、 -C-g-400	99.0	枚			Y4020
排水構造物工 (蓋版) (材別) 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0014号表
U型側溝蓋 (J I S 3 種落蓋型) C g 4 0 0 L 5 0 0 6 5 kg / 枚	1.0	枚			T4005 00
側溝蓋 (-C-a-300S) グレーチング 蓋、 -C-a-300S	16.0	枚			Y4020
排水構造物工 (蓋版) (材別) 40kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0015号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
グレーチング落蓋型側溝用かさ上げT-25 Ca300S 35.7kg/枚	1.0	m			T4602 00
側溝蓋 (-C-a-400S) グレーチング蓋、-C-a-400S	5.0	枚			Y4020
排水構造物工(蓋版)(材別) 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工 第0 -0014号表
グレーチング落蓋型側溝用かさ上げT-25 Ca400S 51.2kg/枚	1.0	m			T4610 00
集水樹工	1.0	式			Y3020
1号集水樹	1.0	ヶ所			Y4020
現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 18-8-40-60%高炉 0.69m3を超え0.73m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工 第0 -0016号表
グレーチング集水樹落込正方 Ea700S T25 本体 65.0kg 受枠19.8kg	1.0	枚			T4835 00
2号集水樹	1.0	ヶ所			Y4020
現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 18-8-40-60%高炉 0.52m3を超え0.55m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工 第0 -0017号表
グレーチング集水樹落込正方 Ea600S T25 本体 49.8kg 受枠17.3kg	1.0	枚			T4830 00
3号集水樹	1.0	ヶ所			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打ち集水樹・街渠樹（本体） 18 - 8 - 40 - 60%高炉 0.52m3を超え0.55m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工 第0 -0017号表
グレーチング集水樹落込正方 E a 6 0 0 S T 2 5 本体 4 9 . 8 kg 受枠 1 7 . 3 kg	1.0	枚			T4830 00
集水樹嵩上工	1.0	ヶ所			Y4020
コンクリート 小型構造物 人力打設	0.1	m3			SPB401 00 施工 第0 -0018号表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.3	m2			SPB431 00 施工 第0 -0019号表
1号排水工					Y2121002865
作業土工					Y320B002879
床掘り	3.6	m3			Y45W5000143
床掘り 土砂 小規模	1.0	m3			SPA161 00 施工 第0 -0011号表
埋戻し	1.4	m3			Y45W5000144
埋戻し 小規模 土砂	1.0	m3			SPA181 00 施工 第0 -0012号表
整地	2.0	m3			Y45W5000155

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整地 残土受入れ地での処理	1.0	m3			SPA109 00 施工 第0 -0007号表
土砂等運搬	2.0	m3			Y45W5000156
土砂等運搬 標準 バ ッ ク	1.0	m3			SPA105 00 施工 第0 -0008号表
吐口柵設置工	1.0	式			Y3215002866
吐口柵	1.0	ヶ所			Y4020
現場打ち集水柵・街渠柵（本体） 18 - 8 - 40 - 60%高炉 1.09m3を超え1.15m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工 第0 -0020号表
グレーチング集水柵落込正方 E a 9 0 0 S T 2 5 本体114 . 4kg 受枠27 . 9kg	1.0	枚			T4845 00
ヒューム管（ -A-a-60） φ600	2.4	m			Y4020
ヒューム管（B形管） 据付 600mm	1.0	m			SPA581 00 施工 第0 -0021号表
舗装工	1.0	式			Y2020
舗装工	1.0	式			Y3020
下層路盤工 RC-40 t=19cm	943.9	m 2			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚190mm 1層施工	1.0	m ²			SPD005 00 施工 第0 -0022号表
下層路盤路側材 RC-40	3.0	m ³			Y4020
再生骨材（骨材）クラッシャー R C - 4 0	1.0	m ³			T8454 00
上層路盤工 M-40 t=10cm	919.2	m ²			Y4020
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整碎石 全仕上り厚100mm	1.0	m ²			SPD009 00 施工 第0 -0023号表
上層路盤路側材 M-40	1.2	m ³			Y4020
粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm	1.0	m ³			T8344 00
表層工 再生密粒度As13 t=4cm	913.1	m ²			Y4020
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm	1.0	m ²			SPD023 00 施工 第0 -0024号表
アスカーブ（ -A-a-150）	13.2	m			Y4020
アスカーブ 125cm ² 以上140cm ² 未満 密粒度（ 1 3 ）	1.0	m			SPD031 00 施工 第0 -0025号表
取付舗装工	1.0	式			Y3020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
取付路盤工					Y4020
	46.8	m 2			
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚100mm 1層施工					SPD005 00
	1.0	m2			施工 第0 -0026号表
取付表層工					Y4020
	46.8	m 2			
表層（車道・路肩部） 3.0m超 平均仕上り厚40mm					SPD023 00
	1.0	m2			施工 第0 -0027号表
構造物撤去工					Y2020
	1.0	式			
看板撤去再設置					Y320B000046
	1	式			
排泥弁看板撤去再設置					Y440R001091
	1.0	式			
道路標識板設置工(案内標識・移設) 2 m2未満 S 1 (1 0 m2未満)					S7021 00
	1.0	式			施工 第0 -0028号表
舗装版取壊し工					Y3020
	1.0	式			
舗装切断					Y4020
	7.9	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下					SPD321 00
	1.0	m			施工 第0 -0029号表
舗装版取壊し					Y4020
	622.1	m 2			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等なし	1.0	m2			SPD311 00 施工 第0 -0030号表
殻運搬処理 アスファルト塊	24.9	m 3			Y4020
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0031号表
汚泥運搬処理	0.1	m 3			Y4020
側溝清掃車運搬 運搬距離 12.2km	1.0	m3			S5200 00 施工 第0 -0032号表
処分費 アスファルト塊	58.5	t			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料(中間処理) アスファルト塊	1.0	t			W1000
処分費 泥水	0.1	t			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料(中間処理) 泥水	1.0	t			W4000
構造物取壊し工	1.0	式			Y3020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート構造物取壊し（無筋）	0.1	m 3			Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 無筋構造物	1.0	m3			S7307 00 施工 第0 -0034号表
コンクリート構造物取壊し（有筋）	0.5	m 3			Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	1.0	m3			S7307 00 施工 第0 -0035号表
殻運搬処理 コンクリート殻（無筋構造物）	0.1	m 3			Y4020
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0036号表
殻運搬処理 コンクリート殻（有筋構造物）	0.5	m 3			Y4020
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工 第0 -0037号表
処分費 コンクリート殻（無筋）	0.1	t			Y4020
調整データ	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） コンクリート殻（無筋）	1.0	t			W2000
処分費 コンクリート殻（有筋）	1.3	t			Y4020

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
調整データ					#0040 A=1,B=1,C=7
	1	調整式			
処分料（中間処理） コンクリート殻（有筋）					W3000
	1.0	t			
仮設工					Y2020
	1.0	式			
迂回路除草工					Y3020
	1.0	式			
除草					Y4020
	1,650.0	m 2			
除草（道路除草） 肩掛け式 飛び石防護なし					SPD521 00
	1.0	m2			施工 第0 -0038号表
集草					Y4020
	1,650.0	m 2			
集草（道路除草）					SPD524 00
	1.0	m2			施工 第0 -0039号表
積込運搬					Y4020
	1,650.0	m 2			
積込運搬（道路除草） 6.5km以下					SPD527 00
	1.0	m2			施工 第0 -0040号表
安全工					Y2020
	1.0	式			
安全工					Y3020
	1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員					Y4020
	80.0	人			
交通誘導警備員 B [0.907]					R0900 00
	1.0	人			
直接工事費					
安全費					Z0008
		式			
工事名標示板費					Y2YK2007379
	1	式			
工事名標示板加算額					S9990 00
	2	基			施工 第0 -0041号表
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費					
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0016

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格						
工事価格	(まるめ)					
消費税等相当額			式			
工事費計						

施工パッケージ内訳表

頁0-0017

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
掘削 SPA101 土砂 標準単価： 331.59 機械構成比： 42.72% 労務構成比： 37.91% 材料構成比： 19.37% 市場単価構成比： 0.00%	オープンカット		施工 第0 -0001号表 1	m3
バックホウ（クローラ型） 排ガス3次 標準型・超低騒音型 MA175		42.72%	バックホウ（クローラ型）[標準型] 超低騒音・排ガス3次 TPMA234	
運転手（特殊） [0.788] R0120		37.91%	運転手（特殊） TPR0120	
軽油 ミニローリー（パトロール給油） T0250		19.37%	軽油 1．2号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=1 オープンカット C=2 押土なし D=1 障害なし E=3 5,000m3未満				
J=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 7				

施工パッケージ内訳表

頁0-0018

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路床盛土 SPA117 2.5m未満 標準単価： 6,824.8 機械構成比： 0.76% 労務構成比： 98.98% 材料構成比： 0.26% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0002号表 1 m3	
K2602 振動ローラ (舗装用・ハンドガイド式) 0.8 - 1.1 t		0.76%	TPK2602 振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		89.34%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		9.64%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.26%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 2.5m未満 D=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 2 4				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0019

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
路体（築堤）盛土 SPA113 2.5m未満 標準単価： 6,722.7 機械構成比： 0.66% 労務構成比： 99.11% 材料構成比： 0.23% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0003号表 1 m3	
K2602 振動ローラ（舗装用・ハンドガイド式） 0.8 - 1.1 t		0.66%	TPK2602 振動ローラ [ハンドガイド式] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		90.70%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		8.41%	TPR0020 特殊作業員	
T0250 軽油 ミニローラー（パトロール給油）		0.23%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 2.5m未満 D=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 2 2				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

頁0-0020

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0021

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
法面整形 SPA301 切土部 標準単価： 918.97 機械構成比： 9.24% 労務構成比： 81.28% 材料構成比： 9.48% 市場単価構成比： 0.00%	現場制約なし		施工 第0 -0005号表 1	m2
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		9.24%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
普通作業員 [0.842] R0030		38.72%	普通作業員 TPR0030	
運転手 (特殊) [0.788] R0120		22.32%	運転手 (特殊) TPR0120	
土木一般世話役 [0.753] R0010		20.24%	土木一般世話役 TPR0010	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		9.48%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=2 切土部 C=2 現場制約なし D=2 は質土、砂及び砂質土、粘性土 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4				

施工パッケージ内訳表

頁0-0022

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
法面整形 SPA301 盛土部 標準単価： 453.58 機械構成比： 11.87% 労務構成比： 75.95% 材料構成比： 12.18% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0006号表 1 m2	
K9203 バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)		11.87%	TPK9203 バックホウ [クローラ型] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		33.62%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		28.67%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		13.66%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		12.18%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 盛土部 B=2 法面締固めなし C=2 現場制約なし D=2 は質土、砂及び砂質土、粘性土 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

頁0-0023

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

111111111111 南 相 馬 市 金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0024

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 1,050.3 機械構成比： 44.67% 労務構成比： 40.44% 材料構成比： 14.89% 市場単価構成比： 0.00%	パッケージ		施工 第0 -0008号表 1	m3
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.67%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		40.44%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.89%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 標準 B=3 パッケージ C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D=1 DID区間なし E=9 3.5km以下				
F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 1 3				

施 工 内 訳 表

頁0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工（植生マット・シート工）（材料含） S7044 植生シート工 肥料袋無 標準品 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満)	1	m2			施工 第0 -0009号表
法面工（人力施工による植生工） 植生シート工 肥料袋無 標準品 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m 2			TA141
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 植生シート工 肥料袋無 標準品 B=5 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満) C=2 時間的制約を受けない D=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
法面工（植生マット・シート工）（材料含） S7044 植生マット工 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満)	1	m2			施工 第0 -0010号表
法面工（人力施工による植生工） 植生マット工 肥料袋付 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m 2			TA151
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 植生マット工 B=5 S3(施工規模 2 5 0 m 2 未満) C=2 時間的制約を受けない D=1 土木工事標準積算基準 - 2 - - 4					

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0026

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,247.4 機械構成比：	小規模 18.73%	労務構成比： 74.16%	施工 第0 -0011号表 1 材料構成比： 7.11% 市場単価構成比：	m3 0.00%
MA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次	18.73%		TPMA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次	
R0120 運転手（特殊） [0.788]	40.26%		TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]	33.90%		TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）	7.11%		TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 土砂 B=5 上記以外(小規模) E=1 全ての費用 C=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 4				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0027

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価： 4,063.8 機械構成比： 8.87% 労務構成比： 87.15% 材料構成比： 3.98% 市場単価構成比： 0.00%	土砂		施工 第0 -0012号表 1 m3	
MA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次		8.27%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回] 排ガス2次	
MC271 タンバ及びランマ [ランマ] 質量 60～80kg		0.60%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 [0.842]		50.03%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.35%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		17.77%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.14%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.84%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=5 上記以外(小規模) B=1 土砂 D=1 全ての費用 E=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 1 2				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0028

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工 第0 -0013号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	m			TDG03
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 L=2000mm 1000kg/個以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 側溝長さ標準 E=1 施工場所による補正無し					
F=1 基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2 再利用撤去無 H=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
排水構造物工（蓋版）（材別） S7142 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1	枚			施工 第0 -0014号表
蓋版 機・労 昼間単価 コンクリート製・鋼製 40を超え170kg/枚以下 時間的制約 無 週休二日月単位 補正係数1.02	1.000	枚			TDG50
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=2 40を超え170kg/枚以下 B=3 時間的制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=1 施工場所による補正無し E=2 再利用撤去作業でない					
F=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0029

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0030

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)				
SPA633 18 - 8 - 40 - 60%高炉 標準単価： 98,509	0.69m3を超え0.73m3以下 0.07%	84.56%	施工 第0 -0016号表 1 材料構成比： 15.37%	箇所 0.00%
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		0.07%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
型わく工 [0.882] R0260		32.16%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.842] R0030		28.77%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		11.17%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.780] R0020		2.26%	特殊作業員 TPR0020	
生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 % T8600		15.08%	生コンクリート 1 8 - 8 - 2 5 高炉 W / C 6 0 % TPT8251	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		0.06%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
B=20 C=2 D=1 E=2 F=13 0.69m3を超え0.73m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭) 高炉 18 - 8 - 40 - 60%				
G=1 H=1 I=1 小型車割増なし 冬期割増なし 土木工事標準積算基準 - 2 - 3 1				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0031

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)				
SPA633 18 - 8 - 40 - 60%高炉 標準単価： 78,900	0.52m3を超え0.55m3以下 0.07%	85.43%	施工 第0 -0017号表 1 材料構成比： 14.50%	箇所 0.00%
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)	K9203	0.07%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
型わく工 [0.882]	R0260	32.81%	型わく工	TPR0260
普通作業員 [0.842]	R0030	28.90%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.753]	R0010	11.20%	土木一般世話役	TPR0010
特殊作業員 [0.780]	R0020	2.15%	特殊作業員	TPR0020
生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 %	T8600	14.19%	生コンクリート 1 8 - 8 - 2 5 高炉 W / C 6 0 %	TPT8251
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	0.07%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				
B=15 C=2 D=1 E=2 F=13	0.52m3を超え0.55m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭) 高炉 18 - 8 - 40 - 60%			
G=1 H=1 I=1	小型車割増なし 冬期割増なし 土木工事標準積算基準	- 2 - 3 1		

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0032

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 36,756 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 41.15% 材料構成比： 58.85% 市場単価構成比： 0.00%	人力打設 0.00%		施工 第0 -0018号表 1 m3	
普通作業員 [0.842] R0030		22.25%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		9.19%	土木一般世話役 TPR0010	
特殊作業員 [0.780] R0020		7.69%	特殊作業員 TPR0020	
生コンクリート T8600 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 %		58.85%	生コンクリート TPTC618 2 4 - 1 2 - 2 5 高炉 W / C 5 5 %	
* * * 単位当たり * * *				
A=2 小型構造物 B=4 人力打設 E=2 一般養生 G=2 現場内小運搬なし K=2 高炉				
L=13 18 - 8 - 40 - 60% M=1 小型車割増なし N=1 冬期割増なし O=1 全ての費用 P=1 土木工事標準積算基準 - 4 - - 4				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0033

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価： 9,147.6 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	小型構造物		施工 第0 -0019号表 1	m2
型わく工 [0.882] R0260		44.28%	型わく工 TPR0260	
普通作業員 [0.842] R0030		30.82%	普通作業員 TPR0030	
土木一般世話役 [0.753] R0010		11.86%	土木一般世話役 TPR0010	
*** 単位当たり ***				
A=1 一般型枠 B=2 小型構造物 C=1 土木工事標準積算基準 - 4 - 2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0034

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)				
SPA633 18 - 8 - 40 - 60%高炉 標準単価： 148,290	1.09m3を超え1.15m3以下 0.06%	83.63%	施工 第0 -0020号表 1 材料構成比： 16.31%	箇所 0.00%
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3)	K9203	0.06%	バックホウ [クローラ型] 賃料	TPK9203
型わく工 [0.882]	R0260	35.46%	型わく工	TPR0260
普通作業員 [0.842]	R0030	22.56%	普通作業員	TPR0030
土木一般世話役 [0.753]	R0010	8.87%	土木一般世話役	TPR0010
特殊作業員 [0.780]	R0020	1.89%	特殊作業員	TPR0020
生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 %	T8600	15.96%	生コンクリート 1 8 - 8 - 2 5 高炉 W / C 6 0 %	TPT8251
軽油 ミニローリー (パトロール給油)	T0250	0.06%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油	TPT0250
*** 単位当たり ***				
B=28 C=2 D=1 E=2 F=13	1.09m3を超え1.15m3以下 人力打設 一般養生・特殊養生(練炭) 高炉 18 - 8 - 40 - 60%			
G=1 H=1 I=1	小型車割増なし 冬期割増なし 土木工事標準積算基準	- 2 - 3 1		

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0035

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
ヒューム管 (B形管) SPA581 据付 標準単価： 39,380 機械構成比： 1.43% 労務構成比： 42.93% 材料構成比： 55.64% 市場単価構成比： 0.00%	600mm		施工 第0 -0021号表 1 m	
KQ051 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 クレーン付き		1.27%	TPKQ051 バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 クレーン付き	
R0030 普通作業員 [0.842]		13.34%	TPR0030 普通作業員	
R0260 型わく工 [0.882]		6.66%	TPR0260 型わく工	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		5.31%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		3.66%	TPR0120 運転手 (特殊)	
T5216 ヒューム管外圧管1種B形(ゴムリング共) 660kg / 本 φ 6 0 0 × t 5 0 × L 2 4 3 0		46.40%	TPT5216 ヒューム管 (外圧管 1 種) B 形 6 0 0 × 5 0 × 2 4 3 0	
T8600 生コンクリート 1 8 - 8 - 4 0 - 6 0 %		8.30%	TPT8251 生コンクリート 1 8 - 8 - 2 5 高炉 W / C 6 0 %	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		0.84%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 据付 B=8 600mm C=1 90°巻き D=1 基礎砕石あり I=1 外圧管1種				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0036

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0037

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚190mm 標準単価： 1,289.3 機械構成比： 5.72% 労務構成比： 18.33% 材料構成比： 75.95% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0022号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4		3.95%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.49%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.49%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		8.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 [0.842]		2.95%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.63%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.16%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシャラン R C - 4 0		74.21%	TPT8321 クラッシャラン C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.50%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0038

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0039

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤 (車道・路肩部) SPD009 粒度調整碎石 標準単価： 637.83 機械構成比： 11.57% 労務構成比： 37.08% 材料構成比： 51.35% 市場単価構成比： 0.00%	全仕上り厚100mm		施工 第0 -0023号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4		7.99%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)		1.00%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.99%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		16.31%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		5.97%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		5.32%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		4.37%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm		47.84%	TPT8345 再生粒度調整碎石 R M - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		3.03%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0040

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m以上3.0m以下 標準単価： 1,912.7 機械構成比： 1.62% 労務構成比： 14.97% 材料構成比： 83.41% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚40mm		施工 第0 -0024号表 1	m2
KQ683 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		1.04%	TPKQ683 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2610 振動ローラ（舗装用・搭乗式コンパインド型） 3 - 4 t		0.21%	TPK2610 振動ローラ [搭乗式・コンパインド型] 賃料	
KQ605 タイヤローラ賃料		0.19%	TPKQ605 タイヤローラ賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		5.11%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		3.49%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		3.41%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		1.24%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度（ 1 3 ） 最大粒径 1 3 mm		76.32%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（ 2 0 ）	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		6.78%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.28%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0042

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0043

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
アスカープ SPD031 125cm2以上140cm2未満 標準単価： 1,010 機械構成比：	密粒度 (1 3) 4.69%	64.29%	施工 第0 -0025号表 1 材料構成比： 31.02%	m 0.00%
MA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		2.82%	TPMA401 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
MC466 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン]		1.61%	TPMC466 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン]	
R0030 普通作業員 [0.842]		29.08%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		11.81%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 [0.780]		10.78%	TPR0020 特殊作業員	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		8.99%	TPR0130 運転手 (一般)	
T8030 アスファルト合材 密粒度 (1 3) 最大粒径 1 3 mm		29.42%	TPT8430 再生アスファルト混合物 細粒度 (1 3)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.10%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.41%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
* * * 単位当たり * * *				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0044

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0045

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤 (車道・路肩部) SPD005 全仕上り厚100mm 標準単価： 1,289.3 機械構成比： 5.72% 労務構成比： 18.33% 材料構成比： 75.95% 市場単価構成比： 0.00%	1層施工		施工 第0 -0026号表 1 m2	
MC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4		3.95%	TPMC20P モータグレーダ [土工用] 排ガス 2 0 1 4	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)		0.49%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.49%	TPKQ617 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手 (特殊) [0.788]		8.06%	TPR0120 運転手 (特殊)	
R0030 普通作業員 [0.842]		2.95%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.63%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		2.16%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材 (骨材) クラッシュラン R C - 4 0		74.21%	TPT8321 クラッシュラン C - 4 0	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		1.50%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0046

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

111111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0047

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 3.0m超 標準単価： 1,808.7 機械構成比： 1.38% 労務構成比： 10.17% 材料構成比： 88.45% 市場単価構成比： 0.00%	平均仕上り厚40mm		施工 第0 -0027号表 1	m2
KQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		0.88%	TPKQ687 アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料	
K2631 タイヤローラ賃料		0.14%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
K4030 ロードローラ 質量10～12t 幅2.1m 賃料 マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）		0.13%	TPKQ510 ロードローラ [マカダム] 賃料	
R0030 普通作業員 [0.842]		3.66%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） [0.788]		2.06%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 [0.780]		2.03%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		0.73%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材 密粒度（ 1 3 ） 最大粒径 1 3 mm		80.70%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（ 2 0 ）	
T0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用		7.17%	TPT0211 アスファルト乳剤 P K - 3 プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.49%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0048

標準単価：

機械構成比：

勞務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0049

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0050

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 700.44 機械構成比： 15.05% 労務構成比： 58.43% 材料構成比： 26.52% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0029号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.24%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.780]		19.96%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.753]		10.88%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.842]		8.92%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m (1 8 インチ)		22.39%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.81%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 1				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0051

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破碎 SPD311 アスファルト舗装版 標準単価： 217.37 機械構成比： 12.85% 労務構成比： 81.24% 材料構成比： 5.91% 市場単価構成比： 0.00%	障害等なし		施工 第0 -0030号表 1	m2
バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 KQ049		12.85%	バックホウ [クローラ・後方超小旋回] 賃料 TPKQ049	
土木一般世話役 R0010 [0.753]		29.54%	土木一般世話役 TPR0010	
運転手 (特殊) R0120 [0.788]		27.52%	運転手 (特殊) TPR0120	
普通作業員 R0030 [0.842]		24.18%	普通作業員 TPR0030	
軽油 T0250 ミニローリー (パトロール給油)		5.91%	軽油 TPT0250 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 障害等なし C=1 騒音振動対策不要 D=1 15cm以下 F=1 積込作業あり				
G=1 全ての費用 H=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2				

施工パッケージ内訳表

頁0-0052

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破碎 標準単価： 1,231			施工 第0 -0031号表 1 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) 標準単価： 1,231	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		44.05%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		39.87%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		16.08%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=3 舗装版破碎 B=2 機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) C=1 DID区間なし D=7 2.5km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0053

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離 12.2km	100	m3			施工 第0 -0032号表
普通作業員 [0.842]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機 - 1 9 フロワ式 9 . 0 m 3	10.417	日			SK921 100/9.6 施工 第0-0033号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=12.2 運搬距離 (km) C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 2					

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0054

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝清掃車運転 SK921 機 - 1 9 ブロワ式 9 . 0 m 3	1	日			施工 第0 -0033号表
運転手 (一般) [0.813]	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	84.000	L			T0250
側溝清掃車 [ブロワ式]	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ブロワ式 9 . 0 m 3 B=1 運転労務数量 C=84 燃料消費量 D=1 機械損料数量					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
構造物とりこわし工 (機械施工) S7307 無筋構造物	1	m3			施工 第0 -0034号表
無筋構造物 機・労 昼間単価 機械 時間の制約 無 週休二日月単位 補正係数1.01	1.000	m 3			TDH11
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 無筋構造物 B=3 時間の制約を受けない C=2 夜間作業 無 D=2 低騒音・低振動対策 不要 (補正なし) E=1 土木工事標準積算基準 - 1 - - 2					

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0055

[illegible]

施工パッケージ内訳表

頁0-0056

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機劣材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,105.9 機械構成比：	機械積込 40.77% 労務構成比： 44.82% 材料構成比： 14.41% 市場単価構成比：		施工 第0 -0036号表 1 m3 0.00%	
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.41%	TPT0250 軽油 1 . 2 号 パトロール給油	
* * * 単位当たり * * *				
A=1 コンクリート(無筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=9 3.3km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0057

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価： 1,369.2 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：	機械積込 40.77%	44.82%	施工 第0 -0037号表 1 m3 0.00%	
MA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		40.77%	TPMA404 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	
R0130 運転手 (一般) [0.813]		44.82%	TPR0130 運転手 (一般)	
T0250 軽油 ミニローリー (パトロール給油)		14.41%	TPT0250 軽油 1.2号 パトロール給油	
*** 単位当たり ***				
A=2 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし B=1 機械積込 C=1 DID区間なし D=9 3.3km以下 E=1 全ての費用				
F=1 土木工事標準積算基準 - 2 - 2 5 - 1				

施工パッケージ内訳表

頁0-0058

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
除草 (道路除草) SPD521 肩掛け式 標準単価： 76.191 機械構成比： 0.62% 労務構成比： 99.38% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00%	飛び石防護なし		施工 第0 -0038号表 1 m2	
草刈機 [肩掛式] MD307		0.61%	草刈機 [肩掛式] TPMD307	
特殊作業員 [0.780] R0020		66.89%	特殊作業員 TPR0020	
土木一般世話役 [0.753] R0010		16.27%	土木一般世話役 TPR0010	
普通作業員 [0.842] R0030		13.33%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 肩掛け式 B=2 飛び石防護なし C=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 3				

11111111111

南 相 馬 市

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0059

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
集草 (道路除草) SPD524			施工 第0 -0039号表 1	m2
標準単価： 29.337 機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比：				0.00%
普通作業員 [0.842]	R0030	95.24%	普通作業員 TPR0030	
*** 単位当たり ***				
A=1 土木工事標準積算基準 - 3 - 4				

頁0-0060

標準單價： 機械構成比： 勞務構成比： 材料構成比： 市場單價構成比：

111111111111 南 相 馬 市 金抜き

数 量 総 括 表					
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
道路改良工事					
土 工					
(切土)					
	バックホウ掘削		m3	383.7	
	バックホウ床掘		m3	58.7	
(盛土)					
	路床盛土	(W<2.5m)	m3	19.1	
	人力埋戻	(W<1.0m)	m3	43.3	
	人力盛土	(W<1.0m)	m3	47.8	
	路肩盛土	(購入土)	m3	5.5	設計図面参照
(購入土)					
	購入土	(ほぐした土量)	m3	7.3	5.5×1.33=7.3m3
(残土)					
	捨 土		m3	320.0	
(切取法面仕上げ)					
	盛土法面仕上げ		m2	165.8	
	切土法面仕上げ		m2	50.3	
法 面 工					
	植生シート	盛土	m2	165.8	
	植生シート	切土	m2	50.3	
排 水 工					
	U 型 側 溝	(Ⅲ-A-i-300A)	m	159.1	81.00+27.20+24.00+26.90=159.10m
	U 型 側 溝	(Ⅲ-A-i-400A)	m	54.3	
	U 型 側 溝	(Ⅲ-A-c-30)	m	4.0	2号集水樹設計図面参照
	コンクリート蓋	(Ⅶ-C-g-300)	枚	287	146+49+44+48=287枚
	コンクリート蓋	(Ⅶ-C-g-400)	枚	99	
	グレーチング蓋	(Ⅷ-C-a-300S)	枚	16	8+3+2+3=16枚
	グレーチング蓋	(Ⅷ-C-a-400S)	枚	5	
	第1号排水工		式	1.0	別紙内訳書
	1号集水樹		ヶ所	1.0	設計図面参照
	2号集水樹		ヶ所	1.0	設計図面参照

数 量 総 括 表					
工 種	種 別	細 目	単 位	数 量	備 考
	3号集水樹		ヶ所	1.0	設計図面参照
	集水樹嵩上工		ヶ所	1.0	設計図面参照
路 盤 工					
	下層路盤工	再生砕石 RC-40, t =19cm	m2	943.9	
	下層路盤路側材	再生砕石 RC-40	m3	3.0	
	上層路盤工	粒調砕石 M-40, t =10cm	m2	919.2	
	上層路盤路側材	粒調砕石 M-40	m3	1.2	
舗 装 工					
	表 層 工	再生密粒度As13, t =4cm	m2	913.1	
	アスカープ	(I-A-a-150)	m	13.2	
雑 工					
	取付路盤工	切込砕石 C-40, t =10cm	m2	46.8	
	取付表層工	再生密粒度As13, t =4cm	m2	46.8	
	排泥弁看板撤去再設置		式	1.0	
	舗装版切断工	As版、t =4cm	m	7.85	
	汚泥水処理（舗装切断）		m3	0.06	
	舗装版取壊し	As版、t =4cm	m2	622.1	
	コンクリート取壊し	（鉄筋構造物）	m3	0.53	
	コンクリート取壊し	（無筋構造物）	m3	0.02	※小数点第1位に数値を丸めるため積算上は0.1とする。
	アスファルト殻運搬		m3	24.88	
	コンクリート殻運搬	（鉄筋構造物）	m3	0.53	
	コンクリート殻運搬	（無筋構造物）	m3	0.02	※小数点第1位に数値を丸めるため積算上は0.1とする。
	アスファルト殻処分		t	58.47	
	コンクリート殻処分	（鉄筋構造物）	t	1.33	
	コンクリート殻処分	（無筋構造物）	t	0.05	
	泥水処分		t	0.08	
仮 設 工					
	迂回路除草工		式	1.0	
			m2	1,650.0	550×3.0=1650m2
			m2	1,650.0	550×3.0=1650m2
			m2	1,650.0	550×3.0=1650m2

[illegible]

[illegible]

路線名

金沢下北高平線(No.0～No.13+6.0)

* * * *

土 工 集 計 表

* * * *

(路線延長 L= 266.000 m)

項目 No.	項 目 名	単位	合 計	備 考
C1	バックホウ掘削	m3	383.7	
C2	バックホウ床堀	m3	58.7	
B1	路床盛土(W<2.5m)	m3	19.1	
B2	人力埋戻(W<1.0m)	m3	43.3	
B3	人力盛土(W<1.0m)	m3	47.8	
L1	盛土法面仕上げ(左)	m2	165.8	
L2	切土法面仕上げ(左)	m2	6.0	
L3	切土法面仕上げ(右)	m2	44.3	

.....
 残土(捨土) $V = (383.7 + 58.7) - (19.1 + 43.3 + 47.8) \div 0.9 = 320.0\text{m}^3$

.....
 盛土法面仕上げ $A = 165.8\text{m}^2$

.....
 切土法面仕上げ $A = 6.0 + 44.3 = 50.3\text{m}^2$

.....
 植生シート(盛土) $A = 165.8\text{m}^2$

.....
 植生シート(切土) $A = 50.3\text{m}^2$

土 量 計 算 書

No.1-1

測 点 番 号	距 離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土(W<2.5m)		
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.0	0.000	1.1			0.0			0.0		
BC.1	10.320	1.0	1.05	10.8	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.1	9.680	1.2	1.10	10.6	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.2	20.000	1.1	1.15	23.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
SP.1	5.590	0.7	0.90	5.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.3	14.410	0.6	0.65	9.4	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.4	20.000	1.0	0.80	16.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
EC.1	0.859	1.0	1.00	0.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
BC.2	4.395	1.3	1.15	5.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
SP.2	10.286	1.6	1.45	14.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.5	4.460	1.6	1.60	7.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.5+2.45	2.450	1.6	1.60	3.9	0.0	0.00	0.0	0.6	0.30	0.7
EC.2	3.375	1.6	1.60	5.4	0.0	0.00	0.0	1.4	1.00	3.4
小 計	105.825			112.1			0.0			4.1
合 計	105.825			112.1			0.0			4.1

土 量 計 算 書

No.1-2

測 点 番 号	距 離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土(W<2.5m)		
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.6	14.175	1.1	1.35	19.1	0.0	0.00	0.0	0.3	0.85	12.0
No.7	20.000	1.3	1.20	24.0	0.3	0.15	3.0	0.0	0.15	3.0
No.8	20.000	1.3	1.30	26.0	0.3	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0
No.9	20.000	2.0	1.65	33.0	0.5	0.40	8.0	0.0	0.00	0.0
No.9+13.40	13.400	2.2	2.10	28.1	0.5	0.50	6.7	0.0	0.00	0.0
No.10	6.600	2.5	2.35	15.5	0.5	0.50	3.3	0.0	0.00	0.0
BC.3	6.152	1.3	1.90	11.7	0.5	0.50	3.1	0.0	0.00	0.0
No.10+11.0	4.848	2.6	1.95	9.5	0.5	0.50	2.4	0.0	0.00	0.0
No.11	9.000	2.3	2.45	22.1	0.5	0.50	4.5	0.0	0.00	0.0
SP.3	15.865	1.8	2.05	32.5	0.5	0.50	7.9	0.0	0.00	0.0
No.12	4.135	1.9	1.85	7.6	0.5	0.50	2.1	0.0	0.00	0.0
No.13	20.000	1.7	1.80	36.0	0.5	0.50	10.0	0.0	0.00	0.0
No.13+0.77	0.770	1.7	1.70	1.3	0.5	0.50	0.4	0.0	0.00	0.0
小 計	154.945			266.4			57.4			15.0
合 計	260.770			378.5			57.4			19.1

No.1-3

測点番号	距離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土(W<2.5m)		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.13+6.00	5.230	0.3	1.00	5.2	0.0	0.25	1.3	0.0	0.00	0.0
小計	5.230			5.2			1.3			0.0
合計	266.000			383.7			58.7			19.1

土 量 計 算 書

No.2-1

測 点 番 号	距 離	人力埋戻(W<1.0m)			人力盛土(W<1.0m)			盛土法面仕上げ(左)		
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.0	0.000	0.0			0.0			0.0		
BC.1	10.320	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.1	9.680	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.3	0.15	1.5
No.2	20.000	0.0	0.00	0.0	0.1	0.05	1.0	0.9	0.60	12.0
SP.1	5.590	0.0	0.00	0.0	0.1	0.10	0.6	0.8	0.85	4.8
No.3	14.410	0.0	0.00	0.0	0.3	0.20	2.9	1.4	1.10	15.9
No.4	20.000	0.0	0.00	0.0	0.2	0.25	5.0	1.4	1.40	28.0
EC.1	0.859	0.0	0.00	0.0	0.2	0.20	0.2	1.4	1.40	1.2
BC.2	4.395	0.0	0.00	0.0	0.2	0.20	0.9	1.3	1.35	5.9
SP.2	10.286	0.0	0.00	0.0	0.0	0.10	1.0	0.0	0.65	6.7
No.5	4.460	0.0	0.00	0.0	0.2	0.10	0.4	0.9	0.45	2.0
No.5+2.45	2.450	0.0	0.00	0.0	0.1	0.15	0.4	1.5	1.20	2.9
EC.2	3.375	0.0	0.00	0.0	0.1	0.10	0.3	2.0	1.75	5.9
小 計	105.825			0.0			12.7			86.8
合 計	105.825			0.0			12.7			86.8

土 量 計 算 書

No.2-2

測 点 番 号	距 離	人力埋戻(W<1.0m)			人力盛土(W<1.0m)			盛土法面仕上げ(左)		
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.6	14.175	0.0	0.00	0.0	0.1	0.10	1.4	1.1	1.55	22.0
No.7	20.000	0.1	0.05	1.0	1.0	0.55	11.0	2.3	1.70	34.0
No.8	20.000	0.2	0.15	3.0	0.4	0.70	14.0	0.0	1.15	23.0
No.9	20.000	0.4	0.30	6.0	0.2	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0
No.9+13.40	13.400	0.4	0.40	5.4	0.0	0.10	1.3	0.0	0.00	0.0
No.10	6.600	0.4	0.40	2.6	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
BC.3	6.152	0.4	0.40	2.5	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.10+11.0	4.848	0.4	0.40	1.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.11	9.000	0.4	0.40	3.6	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
SP.3	15.865	0.4	0.40	6.3	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.12	4.135	0.4	0.40	1.7	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.13	20.000	0.4	0.40	8.0	0.1	0.05	1.0	0.0	0.00	0.0
No.13+0.77	0.770	0.4	0.40	0.3	0.1	0.10	0.1	0.0	0.00	0.0
小 計	154.945			42.3			34.8			79.0
合 計	260.770			42.3			47.5			165.8

No.2-3

測点番号	距離	人力埋戻(W<1.0m)			人力盛土(W<1.0m)			盛土工面仕上げ(左)		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.13+6.00	5.230	0.0	0.20	1.0	0.0	0.05	0.3	0.0	0.00	0.0
小計	5.230			1.0			0.3			0.0
合計	266.000			43.3			47.8			165.8

土 量 計 算 書										
										No.3-1
測 点 番 号	距 離	切土法面仕上げ(左)			切土法面仕上げ(右)					
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.0	0.000	0.0			0.0					
BC.1	10.320	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.1	9.680	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.2	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
SP.1	5.590	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.3	14.410	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.4	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
EC.1	0.859	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
BC.2	4.395	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
SP.2	10.286	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.5	4.460	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.5+2.45	2.450	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
EC.2	3.375	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
小 計	105.825			0.0			0.0			
合 計	105.825			0.0			0.0			

土 量 計 算 書										
										No.3-2
測 点 番 号	距 離	切土法面仕上げ(左)			切土法面仕上げ(右)					
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量
No.6	14.175	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.7	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.8	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.9	20.000	0.0	0.00	0.0	0.5	0.25	5.0			
No.9+13.40	13.400	0.0	0.00	0.0	0.6	0.55	7.4			
No.10	6.600	0.0	0.00	0.0	0.5	0.55	3.6			
BC.3	6.152	0.7	0.35	2.2	0.4	0.45	2.8			
No.10+11.0	4.848	0.3	0.50	2.4	0.0	0.20	1.0			
No.11	9.000	0.0	0.15	1.4	0.9	0.45	4.1			
SP.3	15.865	0.0	0.00	0.0	0.6	0.75	11.9			
No.12	4.135	0.0	0.00	0.0	0.6	0.60	2.5			
No.13	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.30	6.0			
No.13+0.77	0.770	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
小 計	154.945			6.0			44.3			
合 計	260.770			6.0			44.3			

特記仕様書

工事番号： 2026000584
路線河川名： 金沢下北高平線
工事名： 道浸水対策事業(防災・減災)排水路整備(金沢下北高平線)工事
工事施工箇所： 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外

1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和7年10月1日改正）」に基づき実施しなければならない。

2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。
ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

- ・第20章 情報共有システム・遠隔臨場
- ・第21章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
- ・第22章 快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）
- ・第23章 週休2日確保モデル工事等
- ・第24章 建設キャリアアップシステム活用工事
- ・第25章 ふくしまME資格取得者の現場活用
- ・第26章 法定外の労災保険の付保
- ・第27章 異常気象時における現場状況の報告
- ・第28章 再生資源利用計画書
- ・第29章 再生資源利用促進計画書
- ・第30章 その他

3 第2章～第3章、第9章～第25章、第29章が適用される場合は、具体的内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※ 福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

5 設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図面名	図面番号	葉数	適用
平面図	1	1	
縦断図	2	1	
標準横断図	3	1	
横断図	4～6	3	
1号排水工図	7	1	
集水桝工図	8	1	
舗装工展開図	9	1	
取壊し工平面図	10	1	
計	全 10 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全	葉	

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。

※技術管理課ホームページ参照

南相馬市

☒第1章 一般共通事項

- ☐1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡を取り、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|--------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☐ 無 |

- ☐2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第5章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐有 ・ ☐無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~☒4 河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

~~☒第2章 フレックス工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

~~☒第3章 準備期間確保工事~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

☒第4章 総 則

- ☐1 施工計画書

工程管理は バーチャート により行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

- ☐2 工事用地等の使用

- ☐1) _____作業に係るヤードとして、別添「_____図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

- ☐2) 使用にあたっての条件、制限等

□3 関連工事

- 1) 工 事 名 : _____
- 2) 路河川名 : _____ 線・筋
- 3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内
- 4) 注意・指示事項 : _____

□4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

□5 工事現場発生品

- 1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

- 2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

□6 建設副産物処理

- 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

- 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路㈱
無筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業㈱
有筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業㈱
泥水	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	㈱モンマ

※ 積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事(工種)の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
①竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事 (工種)で2)に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2)に示す工事 (工種)
③工期が1年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・協議による。	
④その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	3)に示す工事 (工種)

注1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) ②不可視部の工事(工種)とは次のものとする。

☐杭基礎、☐場所打杭、☐深礎杭、☐ケーソン基礎、☐地盤改良
☐捨石均し、☐被覆・根固め均し、☐井筒潜函基礎、☐山腹基礎床掘
☐上層路盤(1,000m²以上の工事)
☐現場打ちのボックスカルバート、擁壁(鉄筋 Co)
☐橋台・橋脚、☐現場制作PC橋、☐床版
☐水門・樋門
☐ブロック製作、ケーソン製作
☐覆工 Co の前段工事
☐その他【

】

- 3) ④その他、発注者が必要とする工種(工事)とは次のものとする。

☐桁の仮組立
☐水門扉、☐可動堰、☐スノーシェッド、☐ポンプ施設、☐除塵機、☐栈橋
☐堰堤(Co、盛土)
☐堰(工場制作)、ラバーダム
☐地盤変動等の影響が予想される掘削
☐仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
☐仮堤防(本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
☐その他【

】

- ☐ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備考

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢28日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

□ 11 用地取得及び支障物件

□ 1) 工事区域内の用地確保 (□ 済 ・ □ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

□ 2) 工事支障物件： □ 有 ・ □ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (□ 上旬 □ 中旬 □ 下旬)

☐ 12 工事の履行報告（工程会議）

工事着工後、履行状況については、_____に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☐ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は作業時に2人配置する。

交替要員は_____人配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☐ 14 作業工程

1) 全ての作業は、昼間作業とし、時間帯は8時30分～17時までとする。

2) 作業工程における注意事項：

3) 現道の使用規制について

現道は、第三者車両が速やかに通行できるよう本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 _____年 _____月 _____日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 _____： _____～ _____：

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ _____に適用する。

☐ 15 仮設

☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無

☐ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

☐ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名：_____ 数量等：_____

存置期間：_____

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容 (率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	① 昇降設備の充実 ② 環境対策の充実 ③ ICT設備の充実 ④ 作業負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	① 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) ② 労働者宿舎の充実 ③ 現場休憩所の充実(交通誘導警備員待機室を含む) ④ 衛生設備・厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	① 工事標識・照明等安全施設の充実 ② 盗難防止対策 ③ 健康関連施設の充実 ④ 野生生物・害虫対策等
地域連携	()	① 広報活動等(完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等) ② 見学会・イベント等の開催(見学施設等設置・管理運営等含む) ③ 社会貢献・地域貢献等(地域行事等の経費含む) ④ 現场景観向上(美装化・デザイン看板等)

□ 17 工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

□ 第5章 材 料

□ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□ 2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離40kmの範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□ 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

※ 備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

□ 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

□第6章 一般施工

□ 1 建設発生土の処理

□ 1) 他工事への流用: □ 有 ・ □ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内 _____

運搬距離 _____ km

□ 2) 搬出先 (予定地)

受入場所: 南相馬市原町区泉字前向 地内

運搬距離 3.2 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□ 2 他工事からの流用土

□ 1) 他工事からの流用: ☐ 有 ・ ☐ 無

① 工事名: _____ 路河川名: _____

② 指定・施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 _____ 大字 _____ 字 _____ 地内

③ 運搬の有無: ☐ 有 ・ ☐ 無 (_____ km)

④ 品 質: _____

品質の確認試験 (_____) については、 _____ で実施する。

□ 3 購入土等

□ 1) 購入土等の有無: ☐ 有 ・ ☐ 無

□ 2) 購入土等の種類: ☐ 購入土 ・ ☐ 岩ズリ ・ ☐ その他 (_____)

□ 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□ 4) 購入土等が1工事あたり1,000m³以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥（泥土）の処理

□ 1) 汚泥（泥土）は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。

□ 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。

□ 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。

なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□ 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

□ 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下

2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

□4 ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用 ※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満	1,500	
第 4 種第 1 級			
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□5 植栽工 ※ 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第8章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第1編第1章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針のㄥ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□1 工事を行う基本方針（指針P13）

基本方針1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- ① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- ② 右利き、左利きに対応した施設
- ③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- ④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- ⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- ⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- ⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
- ⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ⑫ プライバシーに配慮された施設
- ⑬ 天候や季節に左右されない施設
- ⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ① 使い方を直感的に理解できる施設
- ② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ② 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ⑥ 危険な部分が防護されている施設
- ⑦ 四季を通じて安全な施設
- ⑧ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針4 さりげなく 美しい 施設

- ☐① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐① できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐② 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐③ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐第9章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- ☐1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路構造物の記録保存資料
- ☐2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
 - ・道路舗装構成等の記録保存資料

☐第10章 1日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が1日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

☐第11章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：〇〇工区（施工箇所〇〇、〇〇）、△△工区（施工箇所〇〇）

□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）

（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所〇〇）とする。）

☐第12章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第13章 ICT活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

- 1 本工事の発注方式は (☐受注者希望型 ・ ☐発注者指定型) である。

□2 ICT活用工事(土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工等)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工)」の対象工事である。

□3 ICT活用工事(舗装工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(舗装工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(舗装工)」の対象工事である。

□4 ICT活用工事(浚渫工(港湾))

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(浚渫工(港湾))実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(浚渫工(港湾))」の対象工事である。

□5 ICT活用工事(土工1,000m³未満)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(土工1,000m³未満)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(土工1,000m³未満)」の対象工事である

□6 ICT活用工事(小規模土工)

本工事は、「福島県土木部ICT活用工事(小規模土工)実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について3次元データを活用する「ICT活用工事(小規模土工)」の対象工事である。

□第14章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

~~□第15章 「総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

□第16章 熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

2 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

i) 作業不能日数：●日間

ii) 上記 i) は、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去 5 年分（令和●年～●年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（3 日）を除く。）において、8 時から 17 時の間に WBGT 値が 31 以上となった時間を算定し、日数に換算したもの 5 年分を平均したものの。

iii) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値が 31 以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））が i) の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

3 基準とする気象庁の気象観測所は施工現場によって次のとおりとする。

i) 施工現場が小高区の場合 「浪江」

ii) 施工現場が鹿島区及び原町区の場合 「相馬」

~~第 17 章 三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~第 18 章 国土強靱化事業の取組に関する広報~~

~~——本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~——記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

ご協力をお願いします	
洪水被害を防ぐため、 土砂を撤去しています	
いのちとくらしをまもる防災減災 国土強靱化対策工事	
令和○年○月○日まで 時間帯○:○○～○:○○	
河川(交付)工事(開削)	
発注者	福島県○○建設事務所 ○○課
施工者	○○○○建設株式会社
電話	○○-○○○○-○○○○

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

~~第19章 電子納品~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~電子納品保管管理システムへのオンライン納品は、電子媒体納品書を監督員に提出し、成果品が登録済みであることの確認を受けることで完了とする。~~

第20章 情報共有システム、遠隔臨場

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報共有システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電子媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、「南相馬市建設工事情報共有システム実施要領」によること。

第2-1章 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~□1 労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

~~□2 労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

第2-2章 ~~快適トイレの設置~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページ『快適トイレの設置について』『土木部発注工事における快適トイレの設置に関する運用』を参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。当初設計においては、~~

~~□ 快適トイレ □ 快適トイレ男女一体型（ハウス型）~~

~~設置基数：__○__基 設置期間：__○__月__○__月として計上している。~~

~~現場に快適トイレを設置しない場合は、発注者と協議すること。~~

~~現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、上記設置基数以上の快適トイレを設置する場合は、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

~~また、実際に現場へ快適トイレを設置した期間が確認できる資料を監督員に提示すること。~~

第2-3章 週休2日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休2日等工事試行要領」「南相馬市発注工事における「週休2日確保モデル工事」試行要領」に定める工事のうち、☒としている箇所の対象工事である。

☒「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐完全週休2日

☐「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐完全週休2日

なお、「週休2日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休2日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「完全週休2日」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休2日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第24章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

- ~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~
- ~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~
- ~~(※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)~~

第25章 ~~ふくしまME（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

第26章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第27章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度5弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度5弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度4の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

- ① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。
- ② 休工中であれば、必要に応じ2名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。
- ③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。
- ④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2次災害防止に努める。
- ⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。
- ⑥ 地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。
- ⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、

FAX又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後1時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度5弱以上の地震時

地震発生後1時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第28章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第29章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書(※技術管理課ホームページ参照)の交付を求め、その写しを5年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第9条の規定によるものとする。(※試行要領は技術管理課ホームページ参照)

4 受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果(確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照)を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

☑第30章 その他

(1) 工事書類の簡素化について

1. 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

2. これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

〇〇〇建設事務所 〇〇〇部 〇〇課 〇〇〇 行 (FAX:024-〇〇〇-〇〇〇〇)

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

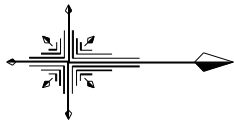
記載例

異常気象時等現場点検結果報告書 (例)

工事名	工第〇〇－４１３００－〇〇〇〇号 〇〇〇〇〇〇〇〇工事		
場 所	市 地内		
請負者	〇〇〇〇〇(株)		
現場代理人	〇〇〇〇		
点検日時	開 始	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
(24時間表示)	終 了	令和〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分	
点検項目	異常の有無		
○現場内の状況			
・法面の崩壊	無し		
・法面の亀裂	有り (延長00m、法長00m)		
・法面からの湧水	無し		
・路面の陥没	無し		
・仮設の設置状況	無し		
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し		
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し		
・河川、水路の水位の上昇状況	無し		
・土石流の発生	無し		
・地すべりの発生	無し		
○現場周辺の状況			
・法面の状況	無し		
・路面の状況	無し		
・流末排水の状況	無し		
・雨量計の読み取り	000 mm		
・土石流危険渓流の状況	無し		
・砂防指定地の状況	無し		
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し		
・地すべり危険区域の状況	無し		
・その他異常の有無	無し		
処置内容			
・No. 0～No. 10左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。			

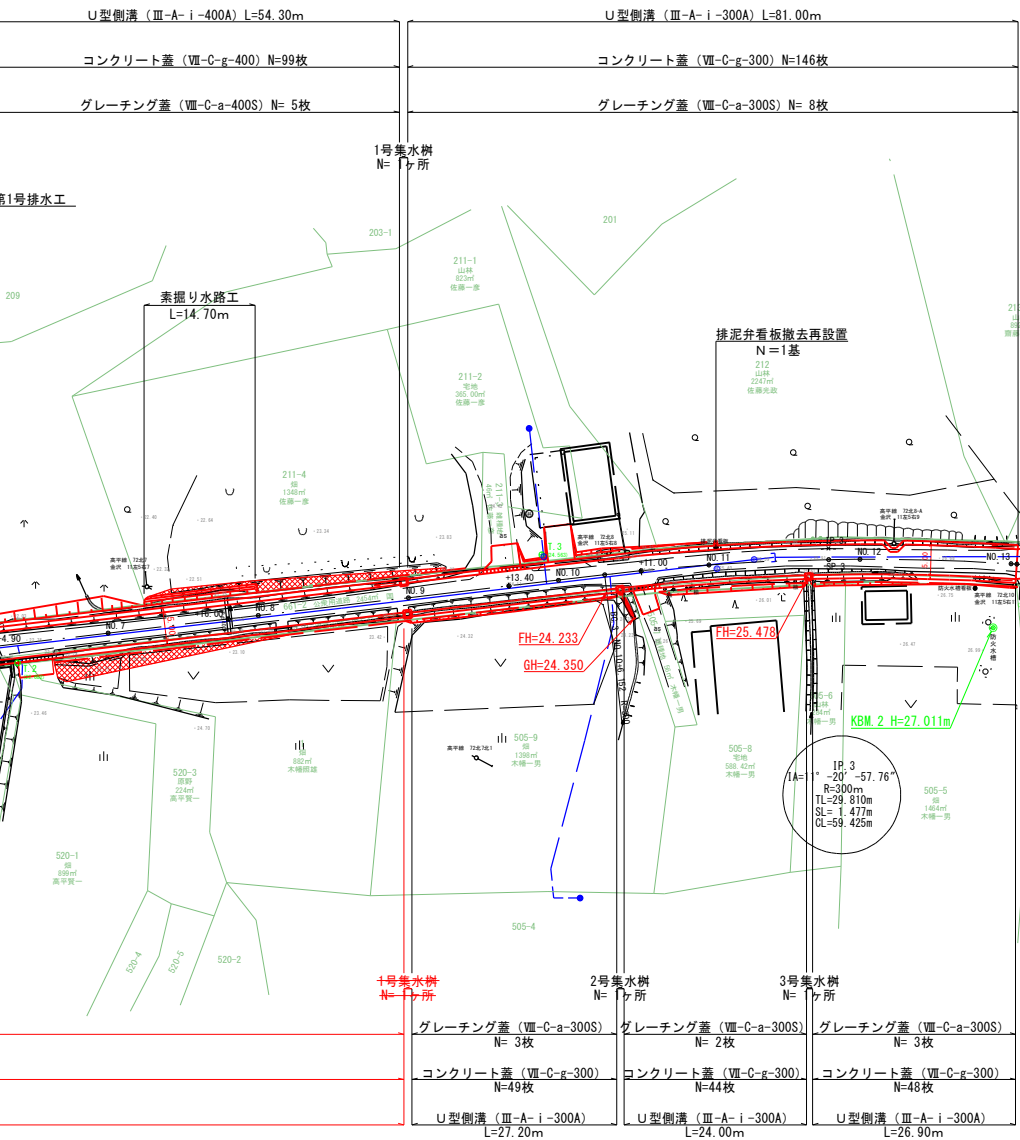
平 面 図

S=1:500



令和 8 年度 施工延長 L=266.00m

下北高平字北山



下北高平字荷渡

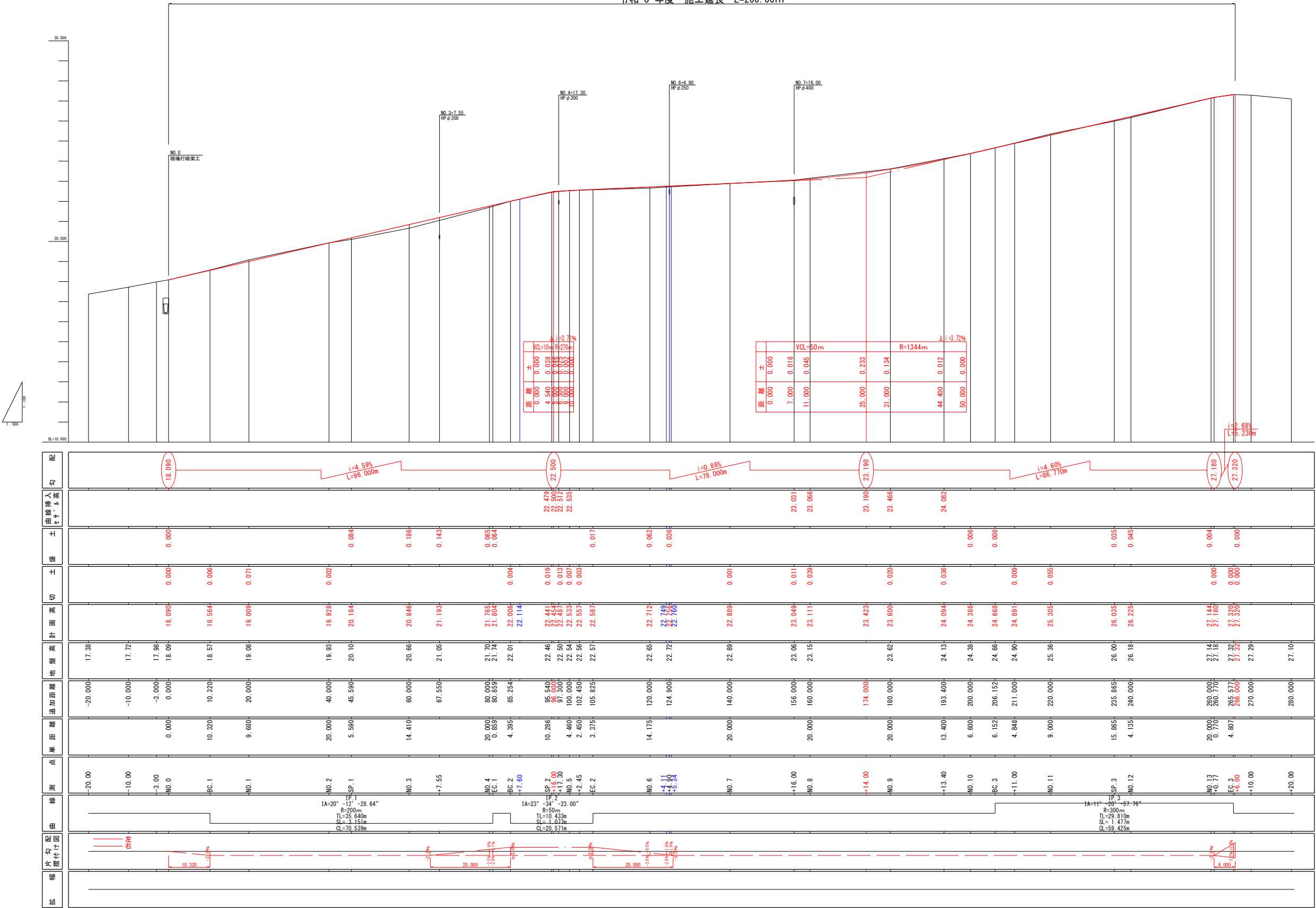
計画2

令和 8 年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事			
平 面 図			
縮 尺	1 : 5 0 0	図面全	10 葉の 1
測 量	(特) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技 術 者
設 計	(特) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者
南 相 馬 市 役 所			

縦断図

H=1:500
V=1:100

令和 8 年度 施工延長 L=266.00m

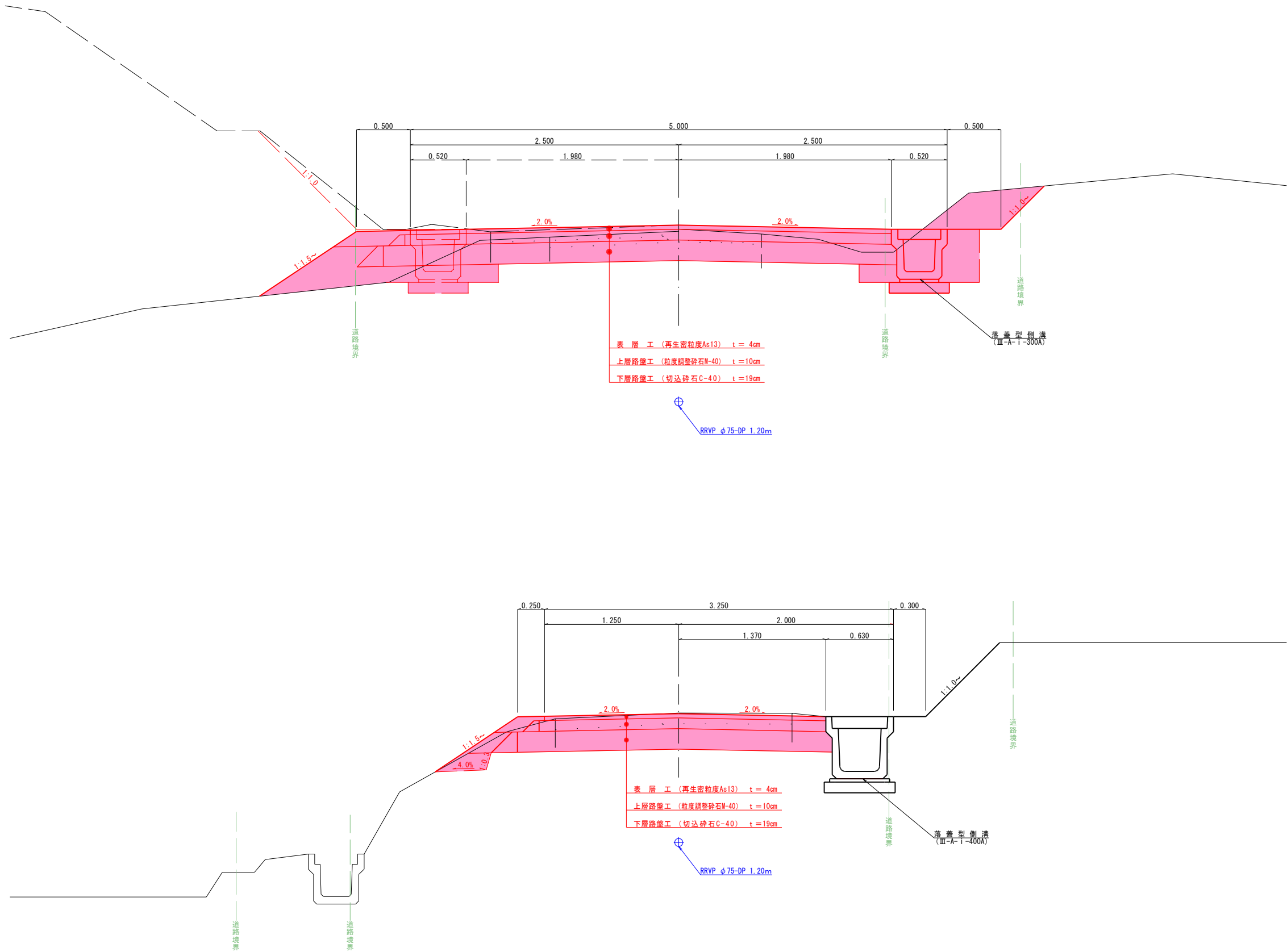


計画2

令和 8 年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（金沢下北高平線）工事			
縦断図			
縮尺	H=1:500 V=1:100	図面全 10 葉の	2
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技術者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技術者
南 相 馬 市 役 所			

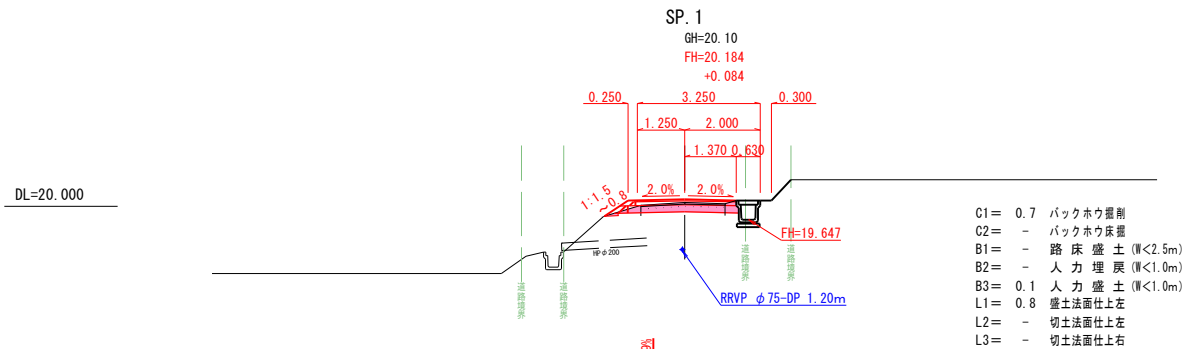
標準横断面図

S=1:20



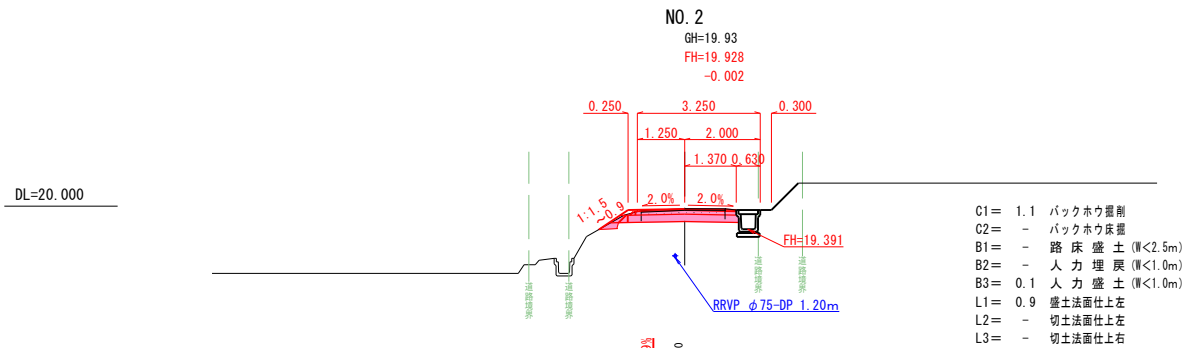
計画2

令和 8 年度 工事番号 第2026000584号				
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内				
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（金沢下北高平線）工事				
標 準 横 断 図				
縮 尺	1：20		図面全	10 葉の 3
測 量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技 術 者	
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 役 所				



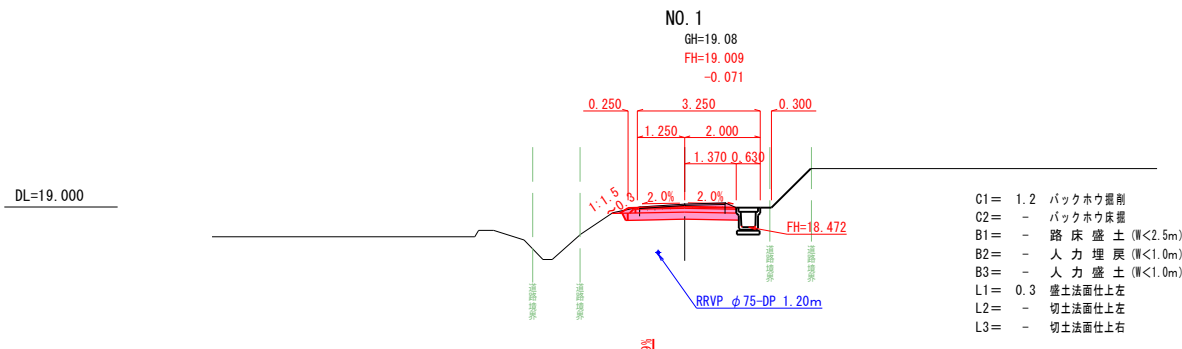
DL=20.000

DL=22.000



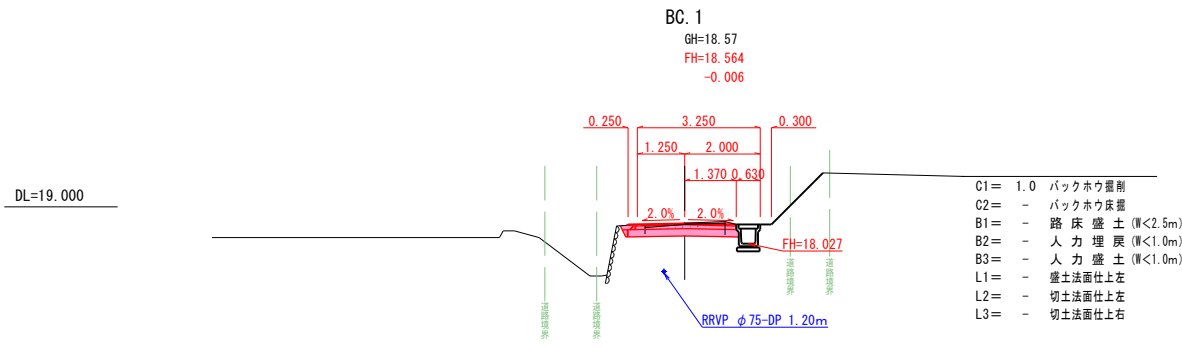
DL=20.000

DL=22.000



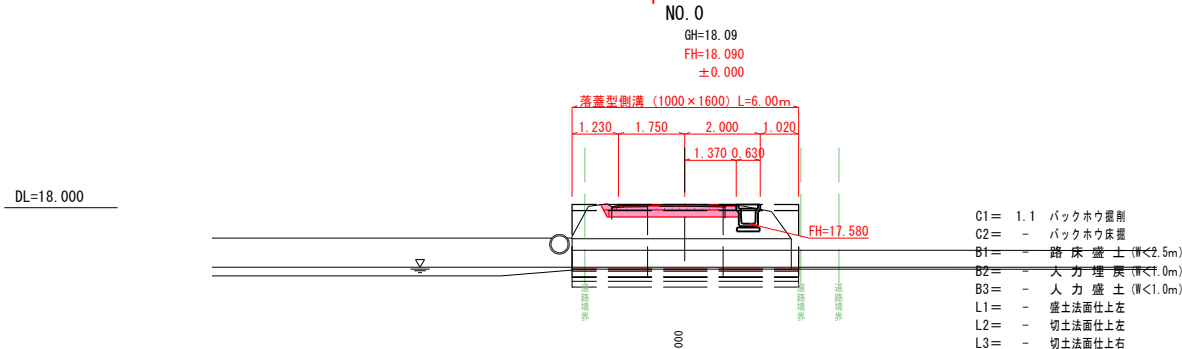
DL=19.000

DL=22.000

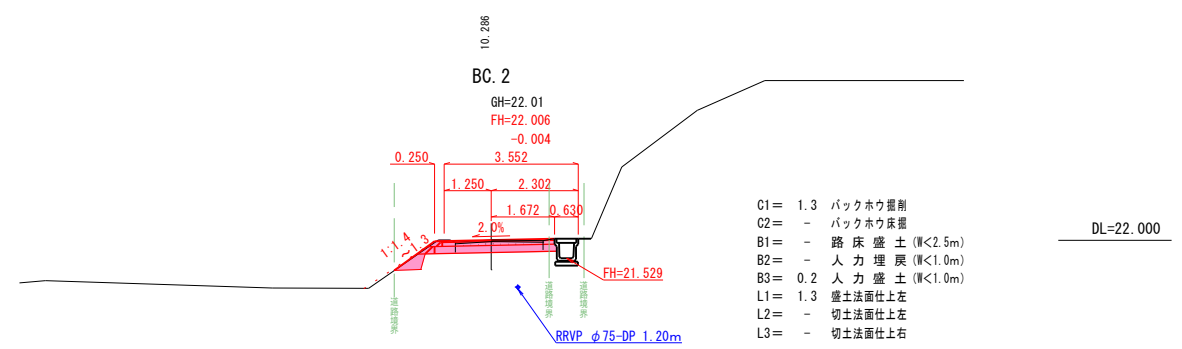


DL=19.000

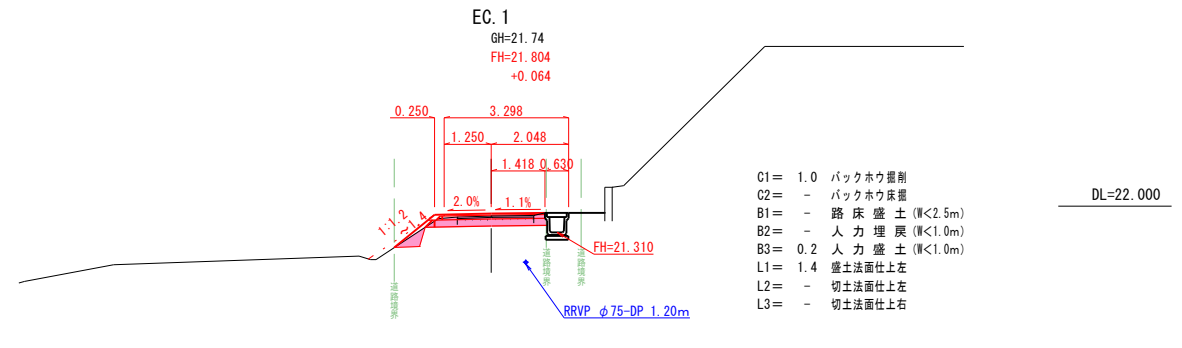
DL=21.000



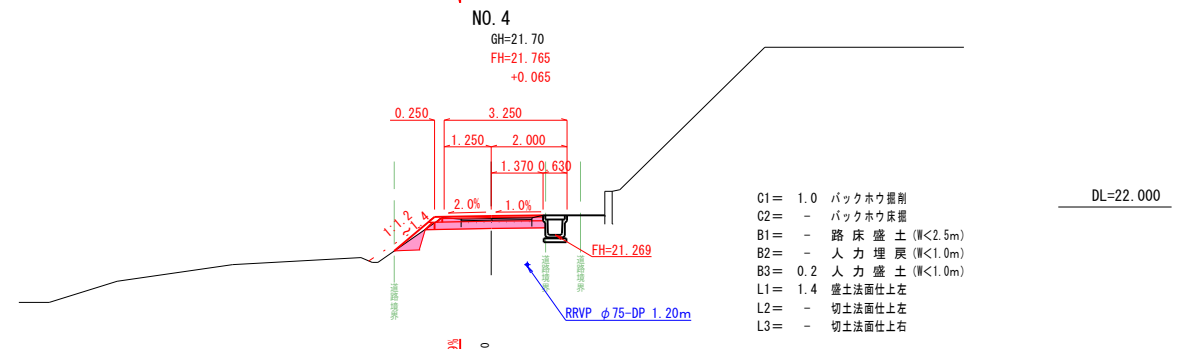
DL=18.000



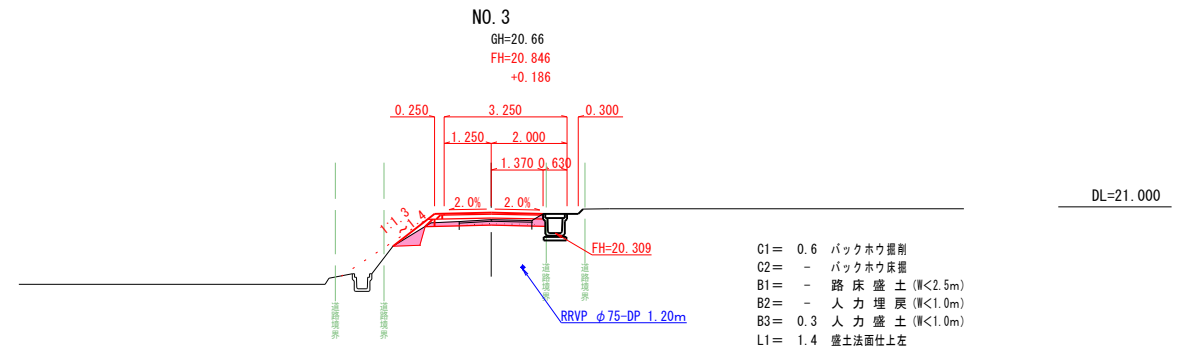
DL=22.000



DL=22.000



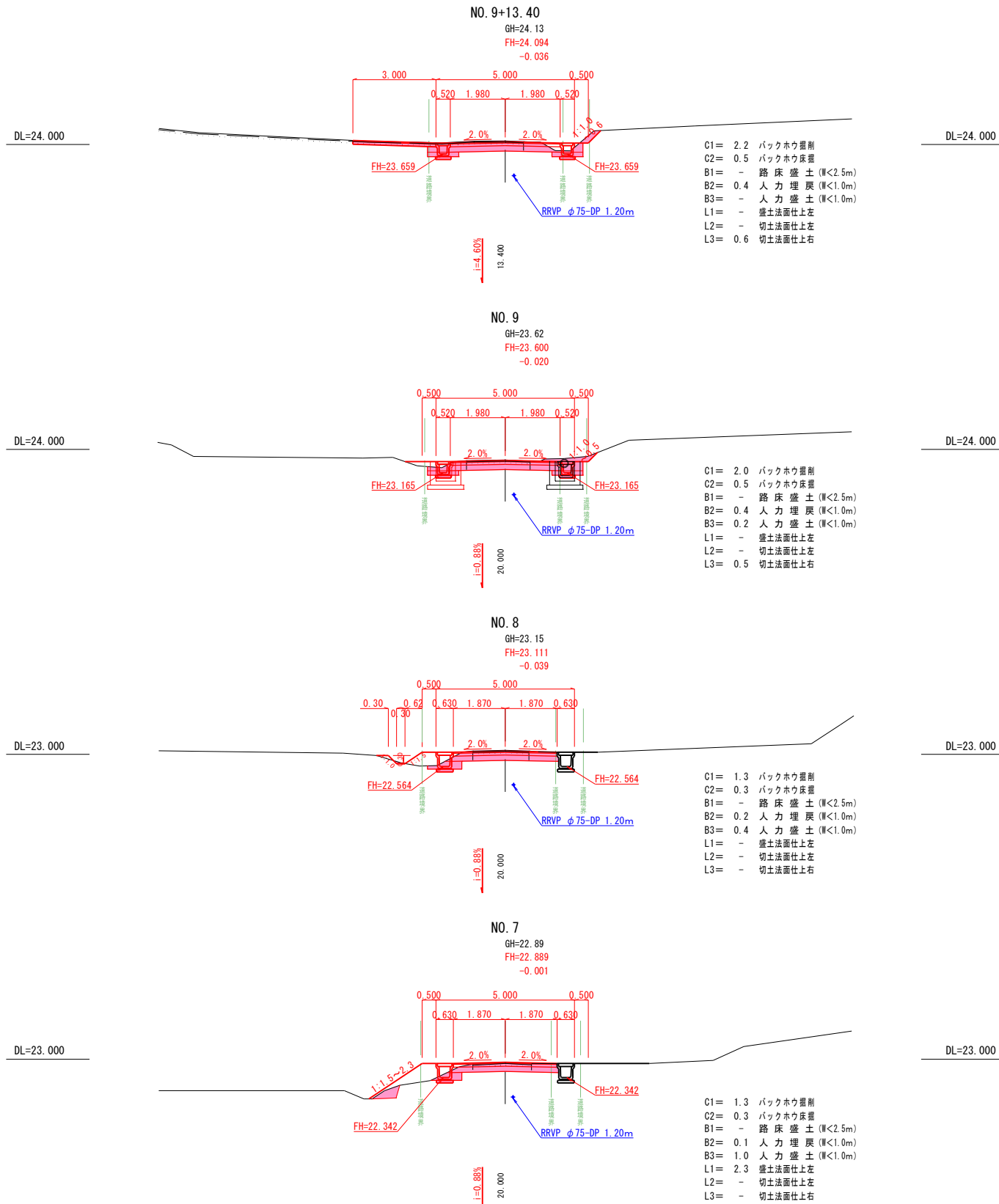
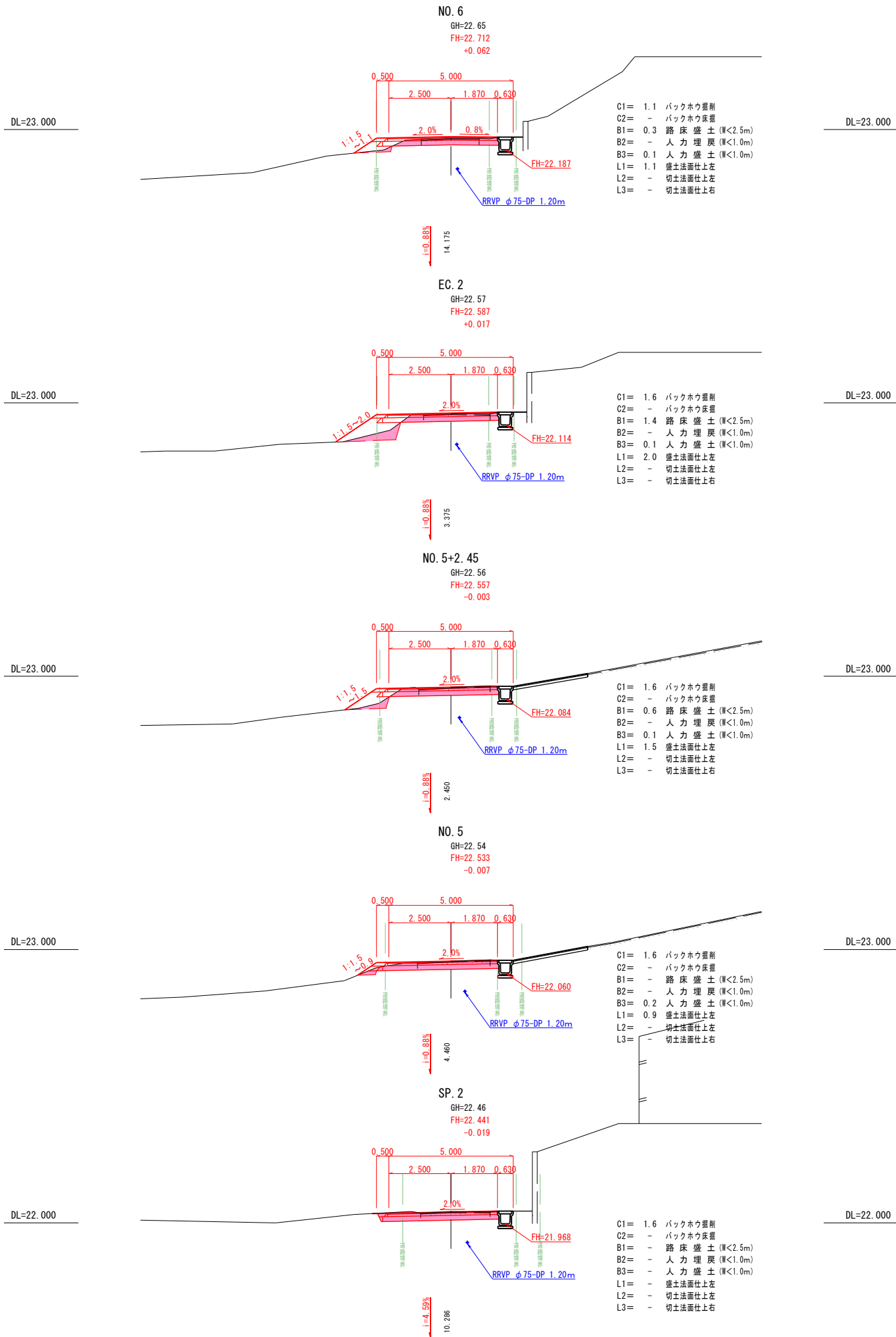
DL=22.000



DL=21.000

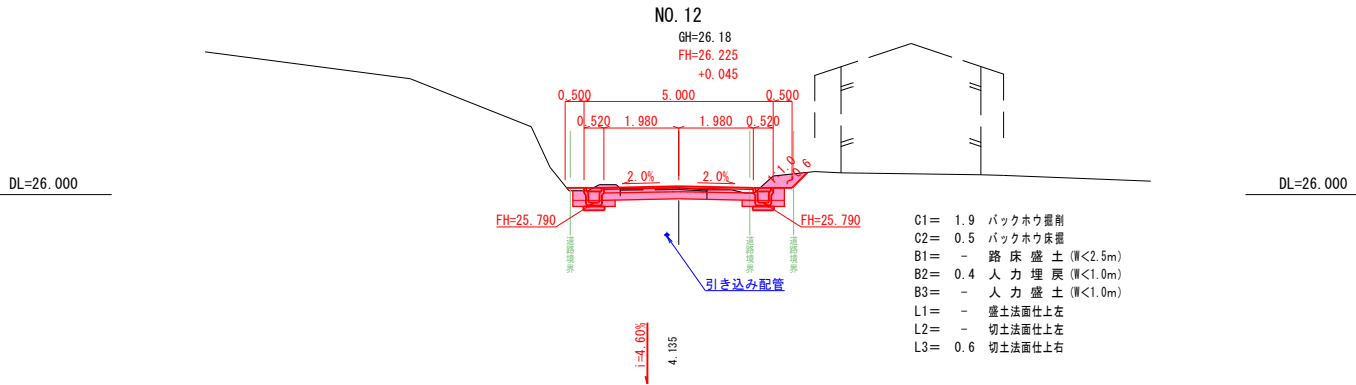
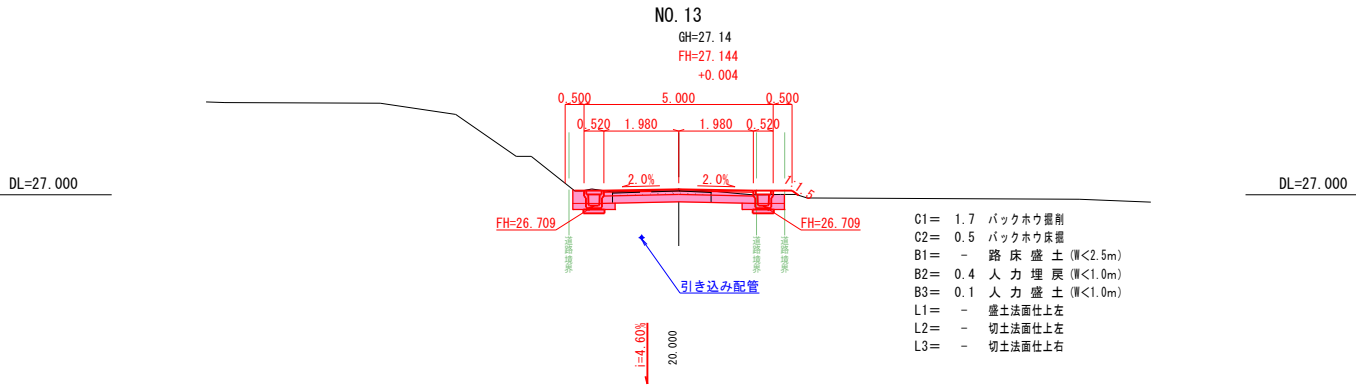
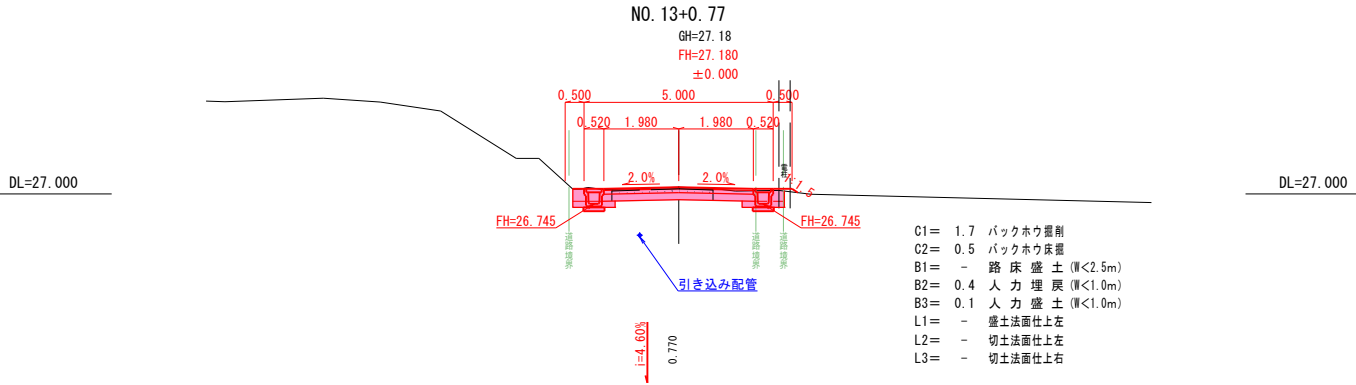
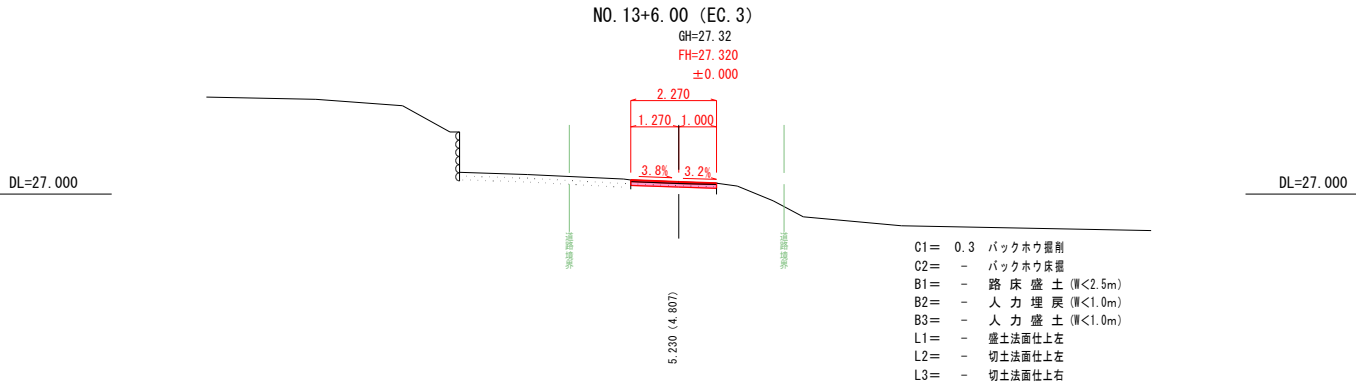
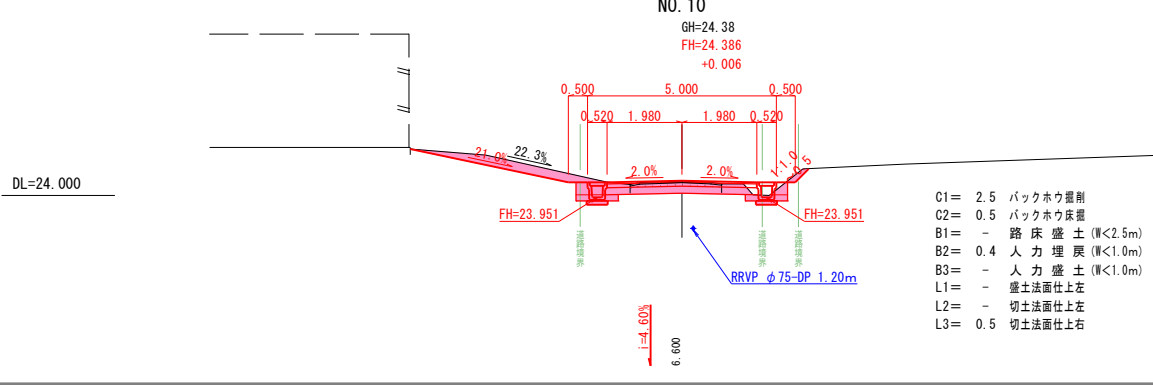
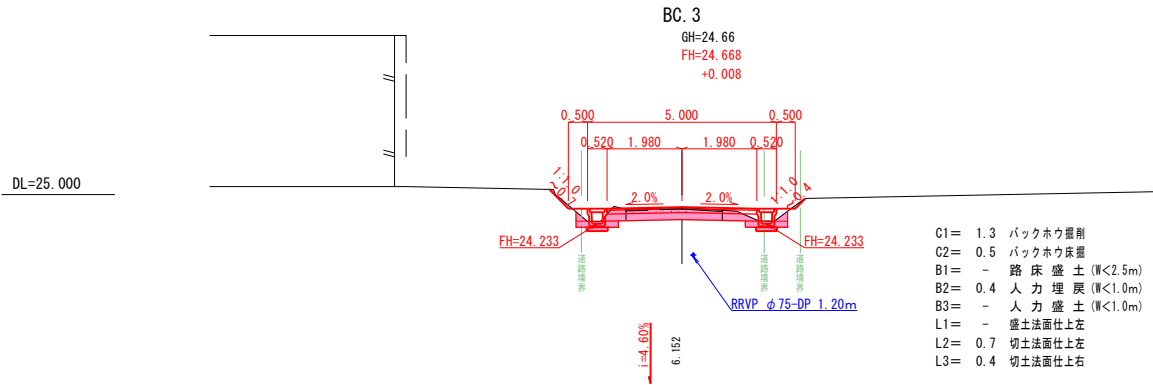
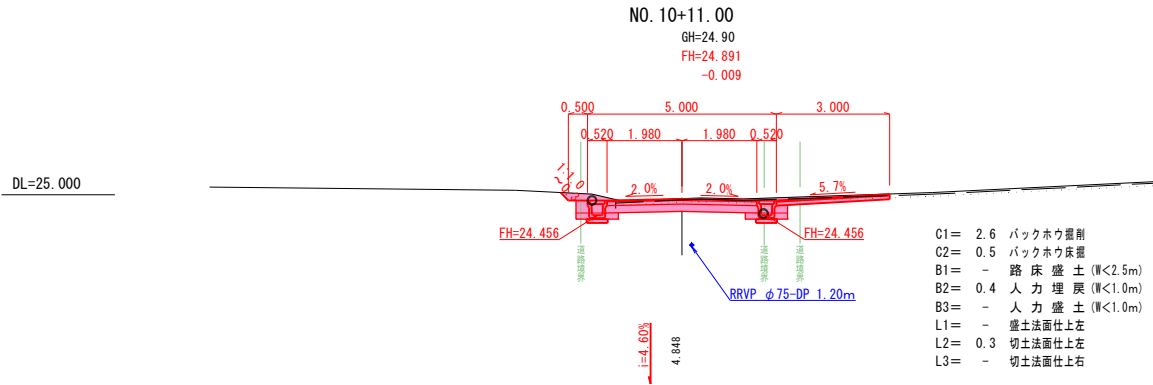
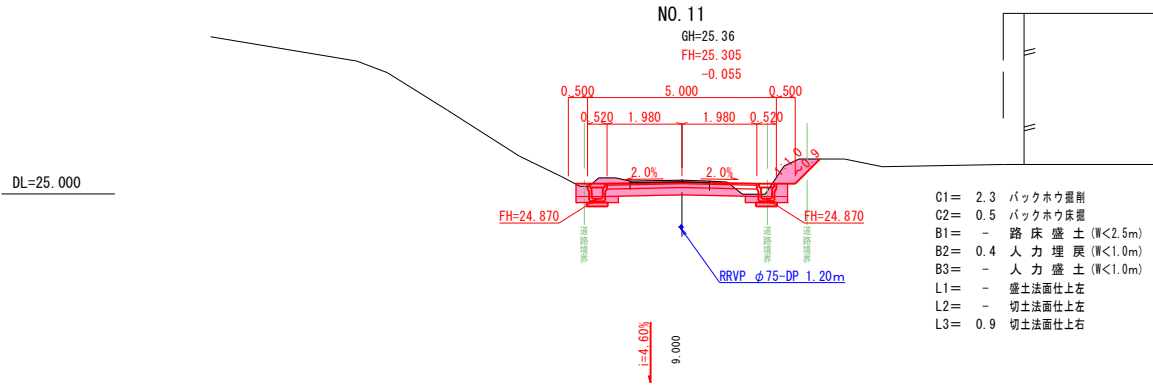
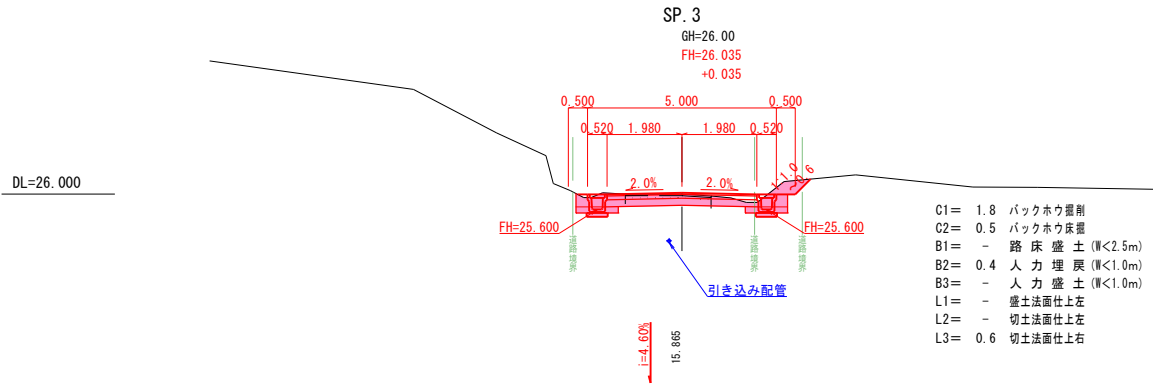
計画2

令和8年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事			
横 断 図 (3 - 1)			
縮 尺	1 : 1 0 0	図面全 10 葉の 4	
測 量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技 術 者
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者
南 相 馬 市 役 所			



計画2

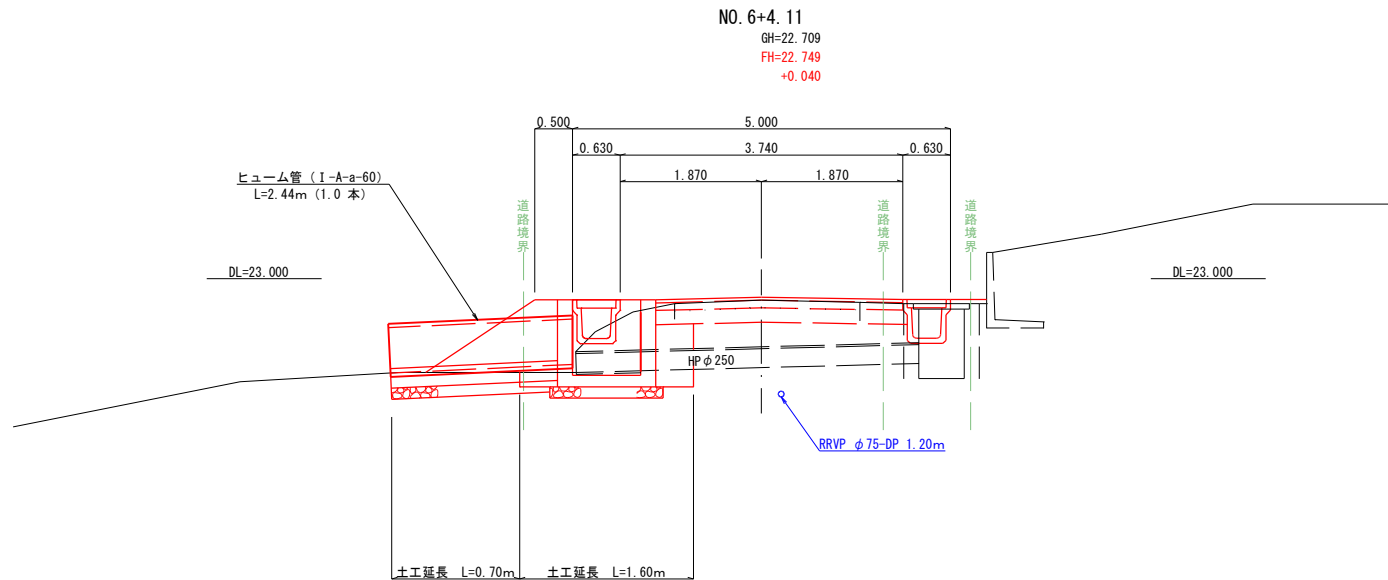
令和8年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（金沢下北高平線）工事			
横 断 図（3-2）			
縮尺	1:100	図面全	10 葉の 5
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技 術 者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者
南 相 馬 市 役 所			



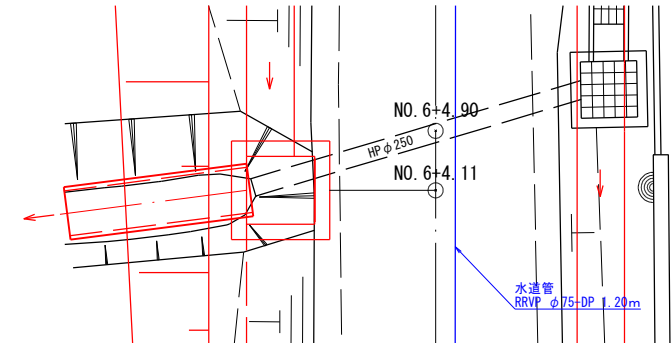
計画2

令和8年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（金沢下北高平線）工期			
横断図（3-3）			
縮尺	1：100	図面全	10 葉の 6
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技 術 者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者
南 相 馬 市 役 所			

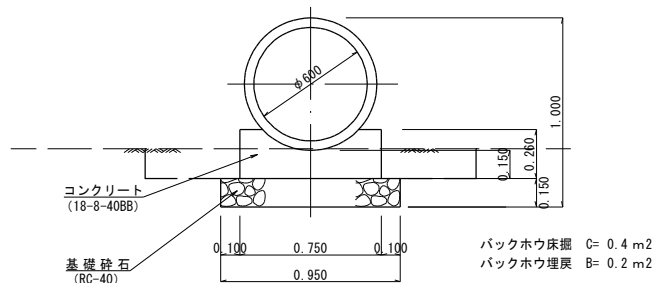
第1号排水工
S=1 : 50



平面図
S=1 : 50



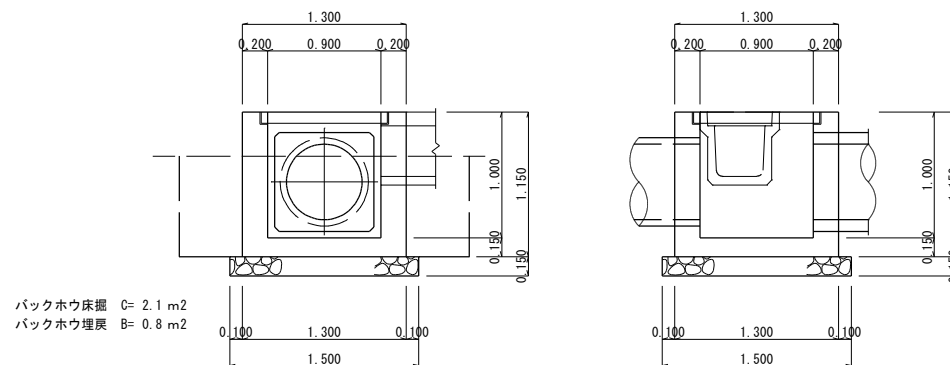
ヒューム管
(I-A-a-60)
S=1:20



ヒューム管 (I-A-a-60) 数量計算 (10.0m当り)

ヒューム管 (φ600)	N= 4.1本
コンクリート (18-8-40BB)	V=1.563m ³
型 枠 (無筋構造物)	A= 5.20m ²
基礎砕石 (RC-40) t=15cm	A= 9.50m ²

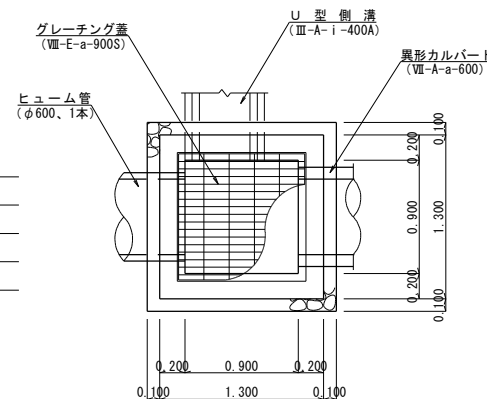
吐口枳
S=1:30



吐口枳数量計算

コンクリート (18-8-40BB)	V=1.30×1.30×1.15=0.90×0.90×1.00=1.13m ³
型 枠 (小型構造物)	A= (1.30+0.90) ×4×1.15=10.12m ²
基礎砕石 (RC-40、t=15cm)	A=1.50×1.50=2.25m ²
グレーチング蓋 (VII-E-a-900S)	N=1.0 枚 (142.3kg/枚)
ヒューム管 (I-A-a-60)	L=2.44m (1.0 本)

土工数量	
バックホウ床掘	V=0.4×0.70+2.1×1.60=3.6m ³
バックホウ埋戻	V=0.2×0.70+0.8×1.60=1.4m ³
残 土	V=3.6- (1.4/0.9) =2.0m ³



計画2

令和8年度 工事番号	第2026000584号
市道	金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事	
第1号排水工図	
縮尺	図示 図面全 10 葉の 7
測量	(株) 第一開発コンサルタント 7 年 1 月 日 主 任 技 術 者
設計	(株) 第一開発コンサルタント 7 年 1 月 日 管 理 技 術 者
南 相 馬 市 役 所	

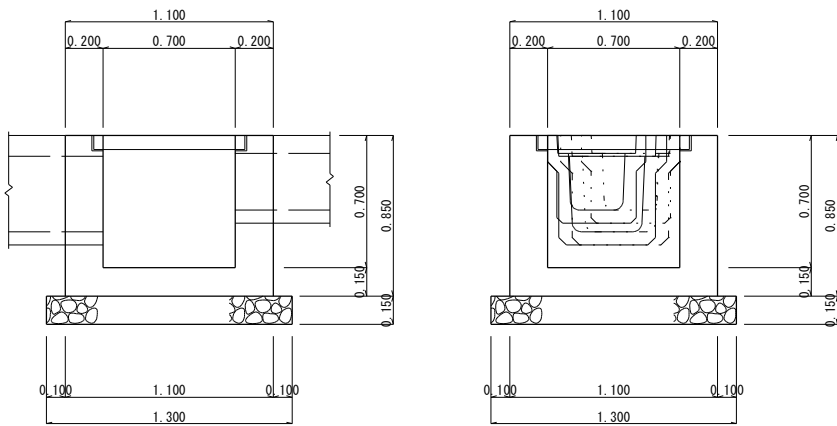
集水樹工図

S=1:20

1号集水樹

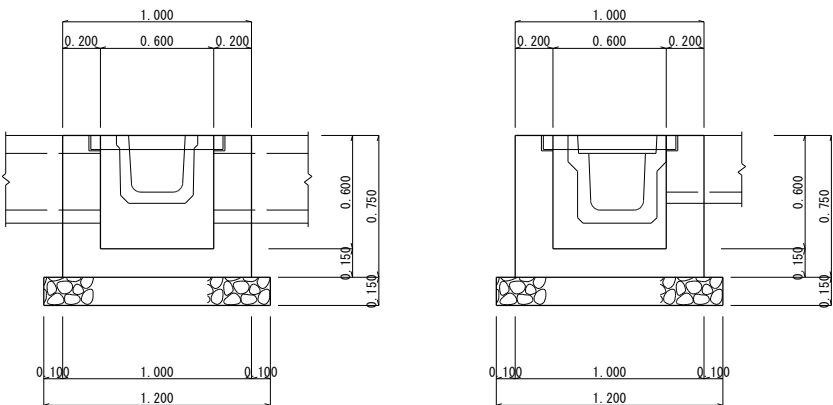
(No.9 左・右)

—— 左
- - - - 右



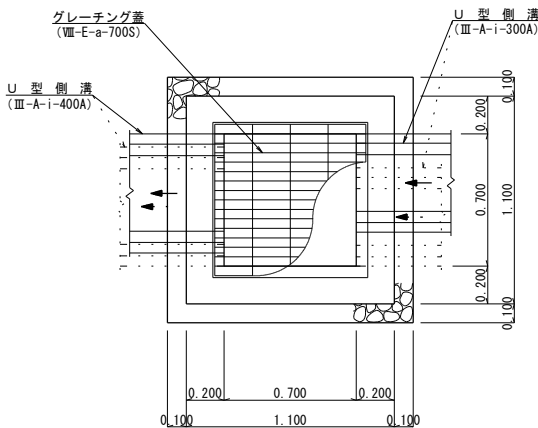
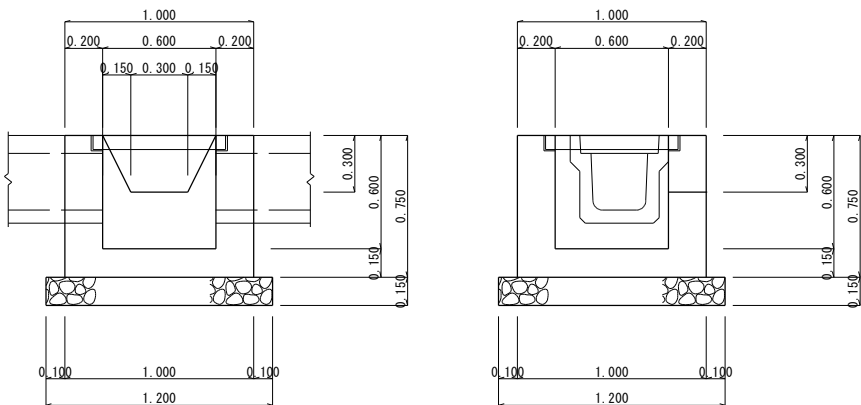
2号集水樹

(No.10+8.00m 右)



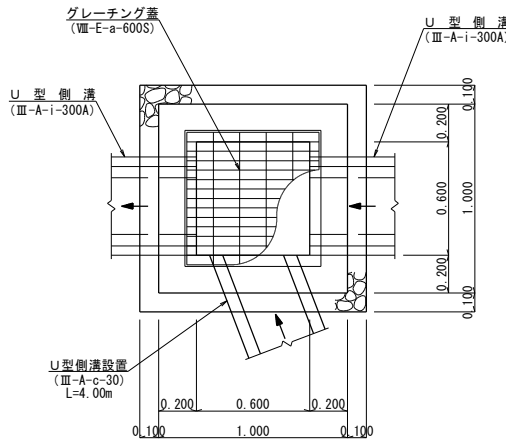
3号集水樹

(No.11+13.20m 右)



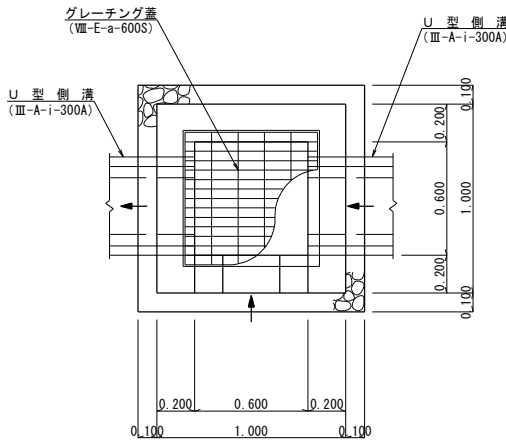
1号集水樹数量計算

コンクリート (18-8-40BB)	$V=1.10 \times 1.10 \times 0.85 - 0.70 \times 0.70 \times 0.70 = 0.69\text{m}^3$
型枠 (小型構造物)	$A=(1.10+0.70) \times 4 \times 0.85 = 6.12\text{m}^2$
基礎砕石 (RC-40, t=15cm)	$A=1.30 \times 1.30 = 1.69\text{m}^2$
グレーチング蓋 (Ⅶ-E-a-700S)	N=1.0 枚 (84.8kg/枚)



2号集水樹数量計算

コンクリート (18-8-40BB)	$V=1.00 \times 1.00 \times 0.75 - 0.60 \times 0.60 \times 0.60 = 0.53\text{m}^3$
型枠 (小型構造物)	$A=(1.00+0.60) \times 4 \times 0.75 = 4.80\text{m}^2$
基礎砕石 (RC-40, t=15cm)	$A=1.20 \times 1.20 = 1.44\text{m}^2$
グレーチング蓋 (Ⅶ-E-a-600S)	N=1.0 枚 (67.1kg/枚)
U型側溝設置 (Ⅲ-A-c-30)	L=4.00m



3号集水樹数量計算

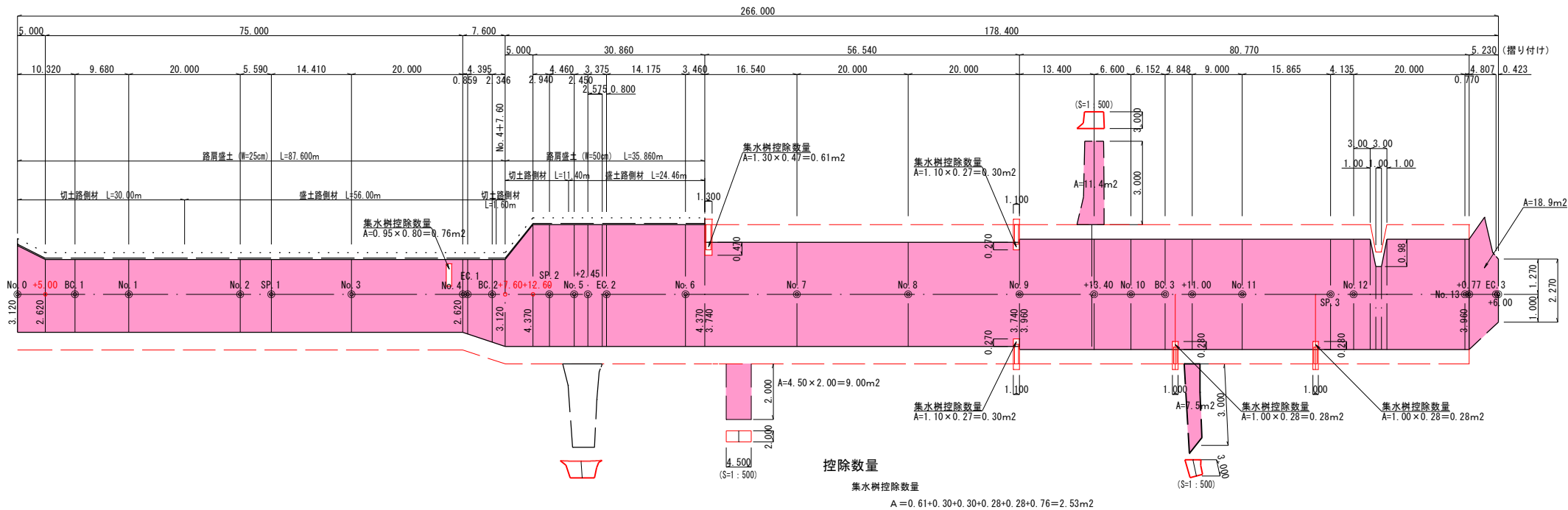
コンクリート (18-8-40BB)	$V=1.00 \times 1.00 \times 0.75 - 0.60 \times 0.60 \times 0.60 = 0.53\text{m}^3$
型枠 (小型構造物)	$A=(1.00+0.60) \times 4 \times 0.75 = 4.80\text{m}^2$
基礎砕石 (RC-40, t=15cm)	$A=1.20 \times 1.20 = 1.44\text{m}^2$
グレーチング蓋 (Ⅶ-E-a-600S)	N=1.0 枚 (67.1kg/枚)

計画2

令和8年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事			
集水樹工図			
縮尺	図示	図面全	10 葉の 8
測量		年月日	主任技術者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管理技術者
南相馬市役所			

舗装工展開図

H=1:500
V=1:100

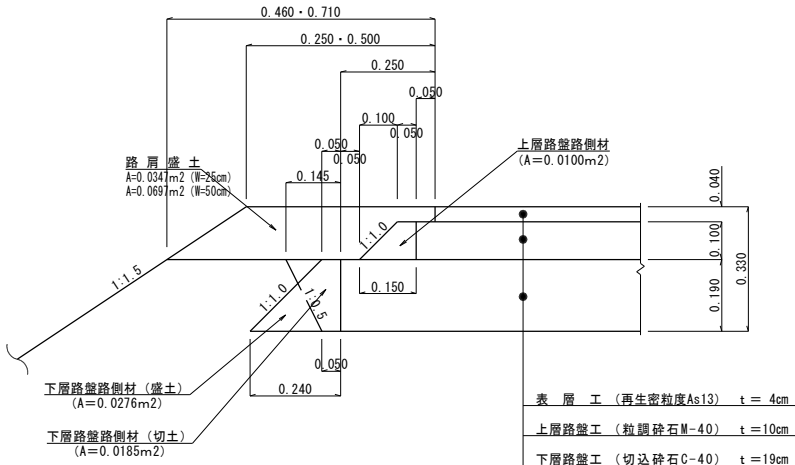


路肩詳細図

S=1:10

舗装数量計算

表層工（再生密粒度As13、t=4cm）
 $A = (3.12 + 2.62) \times 1/2 \times 5.00 + 2.62 \times 75.00 + (2.62 + 3.12) \times 1/2 \times 7.60 + (3.12 + 4.37) \times 1/2 \times 5.00 + 4.37 \times 30.86 + 3.74 \times 56.54 + 3.96 \times 80.77 - (3.00 + 1.00) \times 1/2 \times 0.98 - 2.53m^2 = 913.06m^2$
上層路盤工（粒調砕石 M-40、t=10cm）
 $A = 913.06m^2 + (87.60 + 35.86) \times 0.05 = 919.23m^2$
上層路盤路側材（粒調砕石 M-40）
 $V = (87.60 + 35.86) \times 0.0100m^2 = 1.23m^3$
下層路盤工（切込砕石 C-40、t=19cm）
 $A = 913.06m^2 + (87.60 + 35.86) \times 0.25 = 943.93m^2$
下層路盤路側材（切込砕石 C-40）
 $V = (30.00 + 1.60 + 11.40) \times 0.0185m^2 + (56.00 + 24.46) \times 0.0276m^2 = 3.02m^3$
路肩盛土（W=50cm）
 $V = 87.60 \times 0.0347m^2 + 35.86 \times 0.0697m^2 = 5.54m^3$
取付表層工（再生密粒度As13、t=4cm）摺り付け部含む
 $A = 9.0 + 11.4 + 7.5 + 18.9 = 46.80m^2$
取付路盤工（切込砕石 C-40、t=10cm）摺り付け部含む
 $A = 46.80m^2$

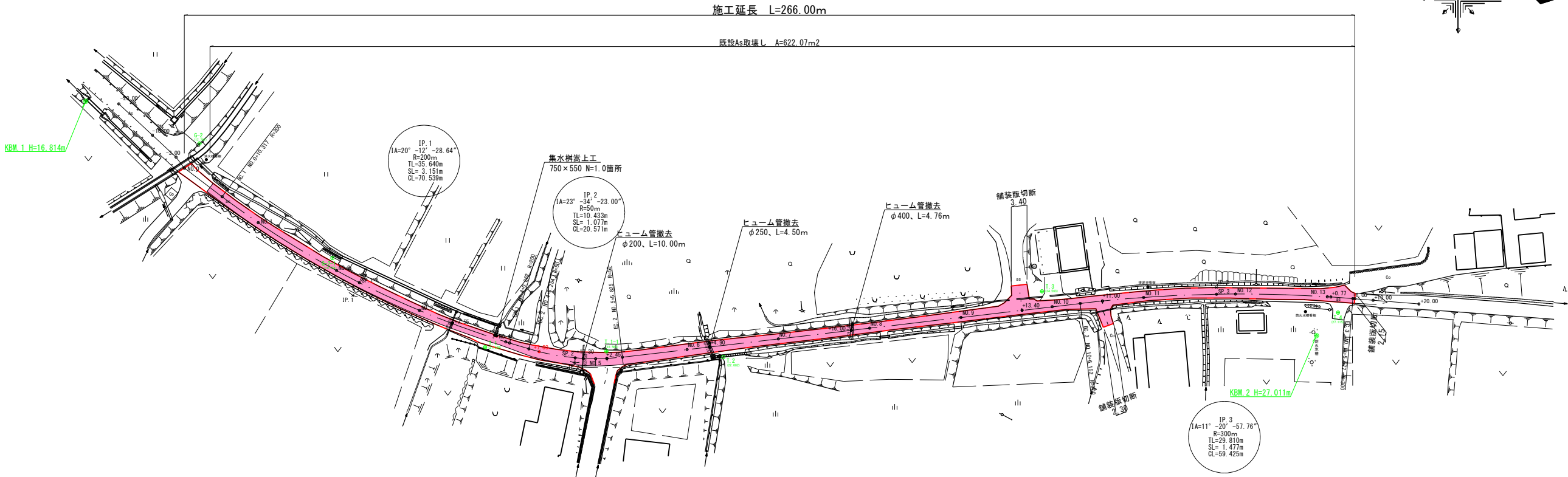
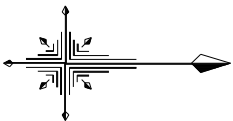


計画2

令和8年度 工事番号 第2026000584号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
浸水対策事業（防災・減災）排水路整備（金沢下北高平線）工事			
舗装工展開図			
縮尺	図示	図面全 10 葉の 9	
測量		年月日	主任技術者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管理技術者
南相馬市役所			

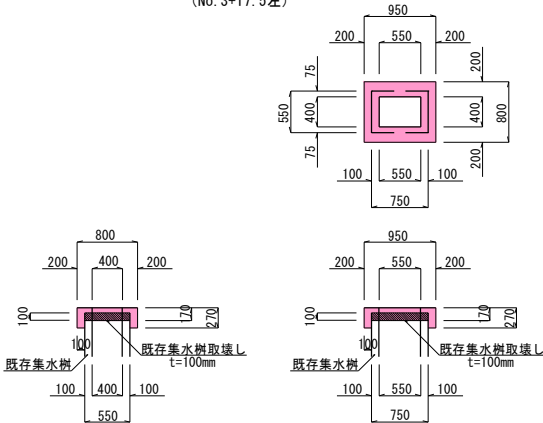
取壊し工平面図

S=1:500



集水樹嵩上工
S=1:50

集水樹嵩上げ
(No.3+17.5左)



コンクリート取壊し (無筋構造物)

$V = (0.75 \times 0.55 - 0.55 \times 0.40) \times 0.10 = 0.02\text{m}^3$

コンクリート (18-8-40BB)

$V = (0.95 \times 0.80 - 0.75 \times 0.55) \times 0.27 + (0.75 \times 0.55 - 0.55 \times 0.40) \times 0.17 = 0.13\text{m}^3$

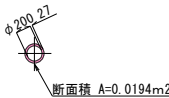
型枠 (無筋構造物)

$A = (0.95 \times 0.27 + 0.80 \times 0.27 + 0.55 \times 0.17 + 0.40 \times 0.17) \times 2.0 = 1.27\text{m}^2$

※ 集水樹蓋は発生材を使用すること。

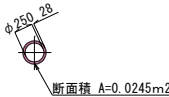
コンクリート取壊し工
S=1:50

ヒューム管取壊し (φ200)
L=10.00m



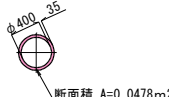
コンクリート取壊し (鉄筋構造物)
V=0.0194 × 10.00=0.19m3

ヒューム管取壊し (φ250)
L=4.50m



コンクリート取壊し (鉄筋構造物)
V=0.0245 × 4.50=0.11m3

ヒューム管取壊し (φ400)
L=4.76m



コンクリート取壊し (鉄筋構造物)
V=0.0478 × 4.76=0.23m3

取壊し工数量計算

舗装版切断 (As版、t=4cm)

$L = 3.40 + 2.30 + 2.15 = 7.85\text{m}$

舗装版切断 (汚泥水処理)

$V = 7.85 \div 203.0 \times 1.80 \times 0.85 = 0.06\text{m}^3$

舗装版取壊し (As版、t=4cm)

$A = 622.07\text{m}^2$

コンクリート取壊し (鉄筋構造物)

$V = 0.19 + 0.11 + 0.23 = 0.53\text{m}^3$

コンクリート取壊し (無筋構造物)

$V = 0.02\text{m}^3$

As 設置搬

$V = 622.07 \times 0.04 = 24.88\text{m}^3$

Co 設置搬 (鉄筋構造物)

$V = 0.53\text{m}^3$

Co 設置搬 (無筋構造物)

$V = 0.02\text{m}^3$

As 処処分

$W = 24.88\text{m}^3 \times 2.35\text{t/m}^3 = 58.47\text{t}$

Co 処処分 (鉄筋構造物)

$W = 0.53\text{m}^3 \times 2.50\text{t/m}^3 = 1.33\text{t}$

Co 処処分 (無筋構造物)

$W = 0.06\text{m}^3 \times 1.40\text{t/m}^3 = 0.08\text{t}$

泥水処分

$W = 0.02\text{m}^3 \times 2.35\text{t/m}^3 = 0.05\text{t}$

計画2

令和 8 年度 工事番号 第2026000584号				
市道 金沢下北高平線		南相馬市原町区下北高平字北山 地内外		
浸水対策事業 (防災・減災) 排水路整備 (金沢下北高平線) 工事				
取 壊 し 工 平 面 図				
縮 尺	図 示	図面全 10 葉の 10		
測 量		7 年 1 月 日	主 任 技 術 者	
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 役 所				